

今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
好奇心さえあれば・・・と前向いて

お互い笑顔で 前向き思考
元気で乗り切って行きましょう

困難の中に居られる方々にエールを!!
いつも 思いをはせています

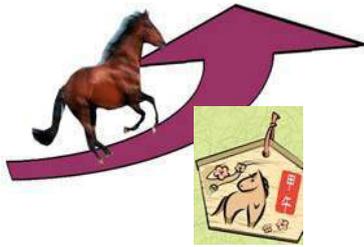
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪が繋がっていることを」

◎ 「付和雷同せず 勇気・冷静・知恵」その重みを強く感じている昨今です。
「まあええか 元気だして行こう」と 心は行ったり来たりです



1. From Kobe 2014年1月 迎春 2014年 年の初めに “ Stay Young Day !! ” fkobe1401.pdf
古希を迎えて ぼやいてばかりはいられない 70歳
まだまだ早い せくな 老楽 これからよ 好奇心さえあればと前向いて
2. From Kobe 2014年 2月 2月春待ちの便り - 毎年気になる「鬼と共」に - fkobe1402.pdf
【1】 1.17. 阪神淡路大震災から19年 「神戸の記憶」
【2】 2014年節分の鬼 「仲間としての鬼」に思う
3. From Kobe 2014年 3月 弥生3月 Spring has come 春迎の便り 2014.3.1. fkobe1403.pdf
【1】 Spring has come 神戸の春便り
【2】 「ソチ五輪の放送に感動しましたか?」 何かおかしい「特別」の氾濫
4. From Kobe 2014年 4月 From Kobe 2014. 4月 2014.4.5 fkobe1404.pdf
1. 日本は今 心のない時代に 今警鐘をならさねば・・・
2. STAP細胞の小保方さん STAP細胞は存在するのでしょうか…
5. From Kobe 2014年 5月 草木萌える新緑がまぶしい fkobe1405.pdf
一本桜 奥平野の「舞桜」に寄せて
桜を眺めるといつもロブさむ歌 私の応援歌 TVドラマ主題歌「記念樹」
6. From Kobe 2014年 6月 June Bright 春から夏へ 梅雨時前の輝きの中 fkobe1406.pdf
1. 6月 様相を変えるのに忙しい梅雨時前の息吹き
2. 「利他的精神」について
7. From Kobe 2014年 7月 自民党が猪突猛進「集団自衛権」を今一度考えよう fkobe1407.pdf
8. From Kobe 2014年 8月ひまわりの夏 2014 到来 fkobe1408.pdf
1. 「私雨」「得意傲然」を排して
2. 「NHKスペシャル」『東日本大震災 復興 正念場の夏～ 建設バブル」と被災地～ を見て』
9. From Kobe 2014年 9月 夏の終りと秋の始まりが入り混じる神戸で fkobe1409.pdf
1. 災害に備えを自己確認
2. 朝日新聞 ひとえきがたり 三陸鉄道 島越駅
10. From Kobe 2014年 10月 澄み切った青空に 元気に飛び出しましょう !! fkobe1410.pdf
1. 初秋 神戸の観光 walking spot スポット 案内
2. 気持ちがほっとする 京都 東寺の弘法さん これは私だけ??
11. From Kobe 2014年 11月 11月 秋便り 神戸の秋 3つ fkobe1411.pdf
1. 10月8日夜 皆既月食 東の山の上高くに 赤い月
2. 疾走するモーターボートレースの迫力に元気を
3. 秋の夜長 折込んで小さく平坦にできる紙バック その折り目はとどこ??
12. From Kobe 2014年 師走の便り fkobe1412.pdf
最近 都会のヤングママに果実の人氣がなく、消費が落ち込む これも時代か??



“ Stay Young Day !! ”

古希を迎えて ぼやいてばかりはいられない 70歳

まだまだ早い せくな 老楽 これからよ

あたらしい年の初め 好奇心さえあれば・・・と 前向いて

今年も よろしくお祈いします

今年もよくも悪しくも これからの日本の方向が見えてくる 目が離せぬ一年。
どんな道をたどるのか・・・ 人任せ 頂点リーダーに頼らず、しっかり考えねば・・・と

「デフレを脱却して景気回復が着実にすすんでいる」と政府やマスコミは喧伝し、期待一杯の新年が始まりました。しかし、まだまだそんな浮かれた気分になれない。年寄りにとっては 頭の上を素通りして行くばかりか、もっと厳しい時代が来るのでは・・・との不安がたえず頭をよぎる。

いったい 誰がこの景気を謳歌できるのだろうか・・・

原発の収束・東日本大震災の人間復興は一向に進まず、旧態依然とした「大企業・金融など

東京が元気になれば、それが波及して 全体が良くなる」式の話ばかりで、これで乗り切れるとは思えない。

「世界へ羽ばたく 世界へ飛び出してゆく」とのカッコの良い言葉は良いが、このままでは、若者の働き口は

おろか、日本から若者が消えちゃってしまうのではないか???? そんな妄想も現実味を帯びてくる。

我々の知る大量生産・大量消費を御旗にスピード・効率・コスト低減の一極集中至上主義が破綻した今、

日本はどこへ向かうのだろうか・・・

そんな中で、政治は相変わらずの体たらく。益々数だのみの中央集権・村社会的発想を強め、即物的な対応に終始し、日本沈没の危機に直面している。「おもてなし」の言葉の大合唱であるが、「みせかけ」が幅を利かせ、「こころ」が失われている。

膨大な借金経営の中での更なる国債の大発行は、何のことはない 今高齢者層が蓄えている預貯金を当てにしているのだと聞く。若者に付けが行くという表向きの言葉とは裏腹に、今後高齢者人口のピークが下がってゆく中で これらの人が蓄えた預貯金が遺産相続を通じて膨大な資金として国庫に流れ込み、国としては帳尻は合ってくるのだという。まったく理念も知恵もして施策もなしの垂れ流し。

それならば、オリンピックや ばかげた政治家のばら撒き投資ではなく、差し迫った日本沈没の危機打開の施策に資金を投下してもらいたいものだ。

最近 大企業・金融中心の資金供与による景気回復策に疑問視する人が着実に増えてきた。

グローバル化した大企業の日本での投資・雇用意欲はますます減少一途であり、新産業論 新ビジネス開発が叫ばれだして久しいが、人を生かすビジネス論もなく、大企業に頼ってでは日本の再生は進まない。

日本の疲弊 地方の疲弊が叫ばれて久しいが、その原因である日本・地方から外への金の流出を止め、循環型の経済圏育成の手立てを講じない限り、日本・地方の活力は生まれえない。

特に膨大な金の流出が続くエネルギー・食糧の自給・循環の構築。そして循環流入が期待される医療への積極的な展開なくしては日本の未来は開けない。

さあ どうなってゆくのか・・・ 今年もよくも悪しくもこれからの日本の方向が見えてくる。

どんな道をたどるのか・・・目が離せぬ一年。 人任せ 頂点リーダーに頼らず、しっかり考えねばならぬ1年である。

そんなエンジンの担い手として アントレプレナー(起業家)としての若者たちのエネルギーに期待したい。

日本をそして地方を壊滅的危機に陥れた大災害の中で、新しい経験をつんだたくましい若者のたち

アメリカを復興させたシリコンバレーの若者たちに例を見るまでもなく、特に循環型経済圏の醸成には そんな若者たちの連携が不可欠であり、また それにより、ビジネスリスクも軽減されるであろう。

本年自由を旗印とする京大にそんな アントレプレナー育成の講座が設けられたと聞いた。

中央に頼らぬ新しい芽が噴出してくることを期待する。

みんな笑顔で暮らせる社会への変革を 若者たちのエネルギーに託したい そんな若者を応援する

また、年を重ねた我々も ぼやいてばかりはいられない 「まだまだ早い せくな 老楽 これからよ」

好奇心さえあれば 前向いて 無理せず 元気に

From Kobe 2014年2月 毎年 気になる「鬼と共に」 古代 鬼にされた製鉄集団

【1】 1.17. 阪神淡路大震災から19年 「神戸の記憶」

【2】 2014年節分の鬼 「仲間としての鬼」に思う 古代 鬼にされた製鉄集団

1.17. 阪神淡路大震災から19年 神戸の記憶

今年も光の輪の中で多くの笑顔にであえました
1995年1月 大地震に見舞われた神戸
みんなが輪になって助け合って
その12月 暗闇の中にぱっとルミナリエの明るい灯がついて
互いの笑顔を見て喜んだ その感動は今も忘れない

年が経つとそのルーツが忘れられ、
ひとつのショーになりがちですが、
若い人たちが震災の記憶を
受け継いでいこうとの流れがあるのもうれしい



1995年1月17日 阪神淡路大震災 神戸の記憶

神戸ルミナリエ 今年も光の輪の中で東北を思い浮かべています
今年も多くの笑顔にであえました
強いところを持って、共に生きていこう
しあわせ 運べるように



真っ暗闇にぱっと灯が燈ったときの感動は忘れられない
今年も多くの笑顔に出会えました

1月17日 阪神淡路大震災の日を迎えます
幾多の苦難を乗り越えた思い一杯の
喜びの灯でもあります
今年も数多くの笑顔に出会えました。
今 幾多の苦難に立ち向かっている人々の上に
笑顔と人間復興の光りが 広く降り注ぎます様に。
神戸から応援しています!!

凍りつくような寒さの中 真っ暗闇 物音ひとつしない瓦礫となった街並み
神戸を離れていた後ろめたさを胸に、黙りこくって 須磨の坂道を帰った夜のことは今も鮮明に。
そして、真っ暗闇の夜をみんながひとつの輪になって お互い助け合って過ごした神戸の輪も。

「忘れない 忘れまい 響きあう心 希望を胸に」 二度と出会いたくない体験と共に 生きてゆく支えに。
困難の中にいる人たちを思い浮かべ、 今元気である自分たちのありがたさを感謝しつつ

By Mutsu Nakanishi

神戸ルミナリエ 今年も光の輪の中で東北を思い浮かべています

今年も多くの笑顔にであえました
今年も多くの笑顔に出会えました

強いところを持って、共に生きていこう
しあわせ 運べるように



真っ暗闇にぱっと灯が燈ったときの感動は忘れられない
今年も多くの笑顔に出会えました

From Kobe 2014年2月【2】 2014年節分の鬼 「仲間としての鬼」に思う

「鬼は外 福は内」から「福は内 鬼も内」へ

競争社会から成熟社会へ移行する日本に必要なのは「縄文かえり・心の優しさ」では・・・



奈良元興寺の厄除鬼「鬼は内 福は内」



神戸長田の森長田神社の節分・追雛式



東播磨稲美町野寺高蘭寺の鬼追式

2月が近づくといつも気になる「鬼」。人にわざわざをもたらす目に見えない隠れた者を 鬼（隠れ）と呼んできた。でも、ご承知のように 日本にはいろんな鬼がいる。

- ◎ 本来の「鬼」 人にわざわざをもたらす目に見えない 隠れた恐ろしい鬼
- ◎ 神や仏の化身の鬼
- ◎ まつろわぬ者として、施政者・統治者に鬼にされた鬼
- ◎ 里人の中に生まれた仲間の「鬼」 どこか間が抜けていて 悪さもするが、人や村を助けてくれた鬼 等々 数々の鬼が生まれた。

私はそんな鬼の中で「里人の中に生まれた仲間の鬼」が好きだ。節分の豆まきに「福は内 鬼も内」と唱えるという。たたら製鉄と関係して各地で伝承されてきた「鬼」もそんな鬼。

本来「悪者・恐ろしい者」とされる「鬼」に対しても「仲間・親しみのある情」を抱く感情は幾多の事例の積み重ねではあろうが、縄文人が育んだ「こころの深さ」にルーツがあるのではないかと。

弥生人を日本のルーツと思い込む人たちによって 縄文人も「鬼」にされてしまった誤りもある

「戦さを知らぬ縄文人」「こころの故郷・心やさしき縄文人」としてしばしば語られる「縄文」

「日本人の心の奥深さ・多様なこころ」がそこにある。

今大きくクローズアップされている「お・も・て・な・し」ではない「おもてなし」の心 もここにある。

「縄文人がこれらの「心の深さ」を育んだのは 母系社会だったからで、

子孫を残せる母親たちが社会を組んでいたから 全体で生活できる余裕ができたのだ」という人がある。

母親たちだからこそ 分け隔てなく子供たちを全体で育て 子孫を残すことができたとも。

いつも繰り返す「縄文かえり」にはっと気がつく。今 考えねばならぬのは これではないか・・・・・・

新興発展途上国との競争に耐えられなくなり、競争発展社会から成熟社会への移行を余儀なくなされている日本。

いつまでも競争発展の幻想に付きまわられても仕方なし。若者が主導する成熟社会の展開を今進めなければと・・・・。

縄文から弥生の時代へ 山や丘から平地に下りて農耕が始まると、治水・農地などを巡る戦さが勃発し、必然的に強力なリーダー必要となり、母系から父系への社会変革が急速に進んでいった。

これに伴って 母系社会が懐に持っていた「心の奥深さ」が次第に父系社会の奥底に埋没してしまった。

子孫繁栄の社会展開も自分の子孫を守ることに必死になり、他を顧みられなくなって、村社会が広がってゆく。

今の日本とどこが違うのだろうか・・・・ 発展競争社会の歪が広がる現在 村社会は益々広がってゆく。

今ブレーキをふまねば・・・・。 いでよ 鬼たちよ!! と。

今一度社会のお底に潜んでしまった「心の奥深さ」「仲間としての鬼」への思いを呼び戻さねば・・・・

縄文かえりの勧めです。

二度にわたる未曾有の大震災に心の奥底にある「縁」「絆」に揺り動かされ、数多くの人たちが立ちあがったが、それらを含め、現在 数多くのNPOの活動の停滞が問題となっているという。

その一番大きな原因は活発なNPOであればある程強力なリーダーが一人で仕事を背負いすぎて、独高の活動のため、長期的には連鎖的活動が広がってゆかないのが原因だという。

NPOの活性化にはリーダーたちがそれを自覚し、個々それぞれのNPOのストーリーを語り、コミュニケーションと仕事分担で 自然的活動連鎖を担うリーダーを次々と増やすことしか道はないという。目に見えぬ連鎖を相互が感じあう組織のひろがりが必要で、「強力なリーダーのもと一致団結して・・・」では広がってゆかぬという。

縄文の暮らしもそうですが、これは まさに カカア天下の極意 納得できる話である。意識するしないにかかわらず、「全体をながめる余裕」が随所に生まれて 初めて持続的な組織へ活性化すると。高度情報化社会の実現を旗印に 過度の IT 情報化 OX 式の二値化の即物的な対応で進んできた発展競争社会の推進力では 成熟社会への道筋は到底描けない。年寄り 若者にかかわらず、現在日本に突き付けられた課題である。「鬼は外 福は内」から「福は内 鬼も内」へ心の奥底にしまいこんだ「心のやさしさ」「おもてなし」の「日本人の心の故郷」に立ち帰ろう。

「仲間としての鬼」たちが今に残している言葉を下記に。
今 鬼に思いをはせてみたい。



2014年2月 「仲間としての鬼」への共感
By Mutsu Nakanishi

《 鬼の起源 そして たたら製鉄集団と鬼 》

鬼の起源は中国。中国文化の移入と一緒に「鬼」が日本に入ってきたといわれる。古くは、中国で 生者の陽に対して死者を陰とし、死者の霊を鬼と言った（先祖の霊を鬼として崇拝した）が、わが国に「鬼」が入ると、陰陽五行説の影響で鬼は恐ろしいもの、人を食う怪物となり、また、仏教の影響で餓鬼から 青鬼・赤鬼が生まれた。また、鬼は牛のような角、虎のような牙と虎の皮のふんどしを付けた姿で描かれるが、これは「鬼門 [=北東]」という言葉からもわかるように、鬼の住む北東が十二支の丑寅（牛、虎）にあたるからである。古代 中央集権的統治が進んでゆく過程で、統治・権力者によって、まつろわぬ者として 集団に入らぬ異文化の集団や地方豪族たちを「鬼」として血祭りにあげて排除する「日本の鬼：人にわざわざをもらす恐ろしい者」が作られた。ヤマト王権が中央集権国家を築いてゆく過程で、 山で暮らす鉱山師・産鉄集団やろくろ師などの異文化・特殊技能集団や中央統治者に抵抗する地方豪族などが 各地のまつろわぬ者として「鬼」にされた。これらの「日本の鬼」にされた人たちが集団に対して、里人・民衆はひそかに連綿と続く相互交流・互恵などを通して心を通わし、統治者とは異なる仲間意識・感情を「鬼」に持ち、数々の「憎めぬ鬼」「村を助けた鬼」などの民間説話を各地に残している。

青森 岩木山(巖鬼山)山麓 鬼の里「鬼沢」

特に 里人にとって 山中でたたら製鉄を営む産鉄集団には樹木を切って山を丸裸にし、洪水を引き起こす大量の土砂を流す山の異文化集団として怖れる一方、彼らの作る鉄製品は農耕具として農耕・治水を飛躍的に向上させ、争いの工具・武器としてもその恩恵に心通わし、古代製鉄がおこなわれた地域には必ずと云っていいほど「鬼」伝説が伝承されており、節分に「福は内 鬼は外」の豆まきに「福は内 鬼も内」と唱える里もあるという。



津軽 岩木山麓 鬼沢に伝わる「鬼伝説」
青森県 弘前市 鬼沢
昔々このあたりはやせた荒地で、作物の実りはきわめて悪かった。そこへ、岩木山の赤倉から下りてきたという鬼が現れ、せつせこの荒地を耕し始めた。村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思い、開墾の困難と農業用水の必要を鬼に訴えた。すると鬼は、それでは力を貸そうと言ったり、薬を消してしまった。翌朝になって村人たちが行ってみると荒地には、一筋の水の流れが勢いよくほとぼしっているではないか。村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時でも決して枯れることはなかったという。村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するため、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという



【鬼神社 社殿正面に掲げられた農機具の彫刻】

- ◎ 奥出雲ヤマタノオロチ 鳥取伯耆の鬼 吉備の鬼 丹後大江山の鬼 東北岩木山の鬼等々
- ◎ 日本各地には 鬼面山・巖鬼山(岩木山) 鬼ノ城など鬼の名のついた山も数多く残っている。
- ◎ 岩木山の麓弘前市鬼沢の集落には鬼神社があり、鬼が耕作してくれたとの伝承に故ずいて数々の農耕具が奉納・祭られ、弘前ねふた には 鬼の里として鬼のねふたを出す。
- ◎ 北上市は 蕨手刀(日本刀のルーツのひとつ)を振りかざし、ヤマト王権と闘い、

鬼とされた蝦夷の族長「アテルイ」を誇り、

「 あの高嶺 鬼すむ誇り
 その瀬音 久遠の賛歌
 この大地 燃えたついのち
 ここは 北上 」

の市民憲章を持っている。

- ◎ 出雲風土記にも 古い鬼の記述があるという。

「古老の伝へて曰く、

昔、或る人、此処に山田を佃り守る
 爾の時、目一つの鬼 来たり、佃人の男を食ふ
 爾の時、男の父母、竹原の中に隠れ居りし時に、竹の葉動げり
 爾の時、食はるる男、動動と云ふ。故、阿欲といふ」

(訳) ある人が山田を作り守っていたところ、一つ目の鬼がやって来てその息子を食べてしまった。

その時 両親は竹原の中に隠れていたが、その時竹の葉がそよいだ。

その時 食われる息子が「あよあよ」と云った、そこで地名を阿欲という。

この記述は阿欲(あよ)と言う地名の由来の説明書で、一つ目の鬼が現れて人を食うと言う事態を物語っている。

古代にはこうした怪物としての鬼が実在感をもって語られていた。

鬼の国、異界日本(1) <http://homepage2.nifty.com/sukecial/oni/index.htm> より

製鉄神は「一つ目」とする伝承も数多く残っており、ヤマタノオロチとスサノオ伝承を含め、

出雲とたたら製鉄の関係を表しているのかもしれない。



真金吹く吉備 総社平野の北側 壁のように連なる鬼城山の「鬼ノ城」と吉備中山「吉備津神社」



鹿角 大湯ストーンサークル



鷹巣 伊勢堂岱遺跡



青森 小牧野遺跡

縄文のこころを映すストーンサークル

「鬼」から生まれた言葉 ことわざ http://nohmask21.com/oni/prover_j.html より

「ことわざ」が今に伝わるのは、広く人々が愛し続けてきたから
人に災いをもたらす怖い鬼というより ユーモラスな仲間としての鬼
「明日は我が身」鬼の姿が見えてくるようです



◆ 来年のことを言えば鬼が笑う

あれこれと未来について予測、あるいは期待してものをいうと鬼が嘲笑する。
人は未来について前もって知ることはできないということのたとえ。
また、未来のことはあてにならないという意味もある。

◆ 渡る世間に鬼はない

世間には鬼のように冷たい人ばかりでなく、心が温かくて親切な人もいるというたとえ。

◆ 鬼の首を取ったよう

大手柄をたてたように有頂天になるさま。

◆ 鬼の目にも涙 (冷酷な鬼でも時には人情が通じて涙を流すことがあるということから)

ふだん厳しく無慈悲な人でも、たまには情に感じて慈悲心をおこし、優しい態度をとることがあるということ。

◆ 鬼に金棒 (強く恐ろしい鬼にさらに強力な武器を持たせることから) ただでさえ強いうえに、さらに強力なものが加わることのたとえ。鬼と鉄とは切っても切れぬ いつも鉄が似合っています

◆ 鬼の居ぬ間に洗濯

主人やうるさい者などがいないすきに、息抜きをし、ひと休みすること。

(参考)「洗濯」は命の洗濯の意で、息抜き。

◆ 鬼の霍乱 おにのかくらん

鬼の霍乱とは、普段はとても丈夫な人が、珍しく病気になることのたとえ。

病気などしたことない人を、強くて丈夫な鬼にたとえ、鬼が霍乱で患うようだという意味から。

「霍乱」とは、漢方医学用語で日射病や食中毒のこと

◆ 疑心暗鬼を生ず

疑心暗鬼を生ずとは、疑いの心をもって見ると、なんでもないことでも疑わしく見えてくるということのたとえ。

心に疑いがあると、様々な不安や妄想を掻き立てられ、なんでもないことでも恐ろしく思えたり、疑わしく思えたりするものである。疑いの心をもってしていると、暗闇の中にいるはずのない鬼の姿が見えたりするということから。

◆ 鬼も角折る

鬼のように凶悪な者でも、ふとしたきっかけで善人になることのたとえ。

非常にかたくなで自分の考えや態度を変えようとしなかった者が、態度を一変させること。

◆ 鬼も一八番茶も出花 (摘み残りの質の劣る番茶でも、出花 [湯をそそいだばかりのもの] は、よい香りがすることから)

どんなに器量の悪い女でも、年頃になれば娘らしくなり、男女の心の機微も理解するようになるというたとえ。

◆ 鬼も寝る間 (恐ろしい鬼でさえ必ず眠っているときはあることから) どんな人間にも必ずすきはあるということ。

◆ 鬼も頼めば 人食わぬ

どれほど相手のしたいことであっても、こちらから頼むとあれこれ理由をつけて承知してくれないもの。

◆ 知らぬ仏より馴染みの鬼

たとえどんな相手であっても、親しみのない者よりは、なれ親しんだ者の方がよいということ。

[知らぬ神より馴染みの鬼] ともいう。

◆ 鬼に衣

1. (鬼は裸で生活しているところから) 不必要なもののたとえ。
2. (鬼が僧衣を着ていることから) 一見したところはやさしそうに見えるが、心の中は恐ろしいことのたとえ。

◆ 鬼の起請

文字は拙劣だが筆に勢いがあることをいう。

(参考)「起請」は人と人との約束や契約を神仏を仲介してとりかわすことで、その誓いの内容を書いたものを「起請文」といった。起請文は権威のあるものとされていたために、筆に勢いのある文字が書かれた。

◆ 鬼の念仏 「鬼の空念仏」ともいう。(恐ろしくて残忍な鬼が念仏をとなえることから)

1. 無慈悲で残酷な心を持った者が、うわべだけ慈悲深そうにふるまうこと。
2. 柄にもなくおとなしそうに、殊勝らしくふるまうことをひやかしている。

参 考 和鉄の道 by Mutsu Nakanishi

◆ 和鉄の道 Iron Road 「鬼」伝承関連地 探訪リスト

<http://www.infokkna.com/dock/mutsu/1402onitanpoulist.pdf>

◆ 西神戸 摂播国境に残る「神や仏の化身の鬼」の追難式

白川街道「妙法寺」新年招福の追難式 10匹の鬼が舞い踊る 2013. 1. 3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/13iron01.pdf>

◆ 和鉄の道 Iron Road 「日本各地鬼伝説」掲載リスト

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/13iron01list.pdf>

◎ 新書藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf>

◎ 縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村

<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf>

◎ 縄文の心を映すストーンサークル

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf>

◎ 「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」 視聴・購読メモ

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human.pdf>

◎ 和鉄の道 Iron Road 「縄文」掲載リスト

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/ironjyomon.htm>



奈良元興寺の厄除鬼「鬼は内 福は内」



神戸長田の森長田神社の節分・追難式



東播磨稲美町野高蘭寺の鬼追式



鹿角 大湯ストーンサークル



鷹巣 伊勢堂岱遺跡



青森 小牧野遺跡

縄文のころを映すストーンサークル



1. 古代鉄の大王国 山陰 伯耆国 溝口の鬼 伝説と大山山麓の大製鉄遺跡群 2000. 3.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jst1aa05.pdf>
2. 古代鉄の大王国 津軽 岩木山北山麓 鬼伝説と古代津 軽の大製鉄地帯 2000. 3.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jst1aa06.pdf>
3. 弘前ねぶたと岩木山北麓 鬼伝説の里 鬼沢 鬼神 社・十腰内 巖鬼山神社を訪ねて 2000. 8.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jst1aa08.pdf>
4. 鬼の住む山 大江山 鬼の伝説に「Iron Road」のロマンをかきたてて 2001. 8.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jst1bb06.pdf>
5. 日本各地の鬼伝説 鬼伝承の鬼は本当に悪者か???? 2002. 2.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jst1bb10.pdf>
6. 真金吹く吉備国 吉備の鉄 と桃太郎伝説 2002. 3.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jst1bb11.pdf>
7. 「あの高嶺 鬼住む誇り・・・」と唄う北上市市民憲章 北上江釣子・砂鉄川・蔵王 2003. 7.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/8etsuriko.pdf>
8. 蝦夷の鉄・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9編 取りまとめ 2004. 1.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf>
9. 日本三彦山の一つ 越後弥彦山 Walk 古代鉄の国「越」 弥彦山に鍛冶神の痕跡を探して 2007. 5.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron10.pdf>
10. 桃太郎伝説の吉備路 walk 鬼ノ城を訪ねる 2010. 1. 15.
 唐の侵攻に備えた古代7世紀の朝鮮式山城 「鬼ノ城」の中に鍛冶工房があった
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/10iron02.pdf>
11. 神戸の鬼 鬼の舞を追う 2012年2月 2012. 2.
 神戸長田の森「長田神社の鬼」と 稲美町野寺「高菴寺の鬼」
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/12iron02.pdf>
12. 出雲神楽「八岐大蛇」を鑑賞 淡路島 伊弉諾神宮 神楽祭 2012. 9. 23.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/12iron08.pdf>
13. 西神戸 摂播国境に残る「神や仏の化身の鬼」の追雛式 2013.1.3.
 白川街道「妙法寺」新年招福の追雛式 10匹の鬼が舞い踊る
 参考「日本各地鬼伝説」和鉄の道・Iron Road 掲載リスト
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/13iron01.pdf>



2012年2月3日 神戸長田の森長田神社の節分・追雛式



2012年2月10日夕 東播磨稲美町野寺高菴寺の鬼追式



1. Spring has come 神戸の春便り



梅も咲き出した神戸須磨海岸 春の明るい陽ざしにきらきら輝く須磨の海

弥生3月 春迎いのすばらしい風景に乗せて 明日への希望・期待が膨らんでいく。

でも いつも どんでん返しの不安が付きまとい、積み残されまいとの思いの中で、心が揺れ動く

今 時代の方向が変わろうとしている時代に黙ってはおれない。 そんな思いをぶつぶつと

頂点迎合・過度の多数派横暴が益々露骨な最近の世相

年寄りの冷や水・たわごとと自分だけとと思っていましたが、街でもそんな声

海外からも逆の声 強気の声のほころびも

ソチ五輪 毎日夜中まで繰り返し流される映像と感激の押し売り。そして、スタート前に長々とあおりの話が繰り返し流れる。記録と中継 解説と報道がごちゃ混ぜで スポーツ放送の面白さがどんどんそがれてゆく。

外から見れば、本当にこっけいな姿勢に移っているのでは・・・何かおかしい最近の報道姿勢 益々それが急加速。

某新聞の紙面づくりも異常。

全面広告に 一面全面ひとつのテーマ記事が並ぶ。それも記者が書く記事でなしに外の人の署名記事。

全面記事をはずすと記事数もすごい削減。 本当に読みにくい。また読むとこがない。

新聞に期待する方向が随分乖離してきたようだ。 新聞・放送など報道各社の断末魔の叫びなのだろうか・・・

街のあちこちで、卒業式を迎える若者の華やいだ姿も多い。

どうか 期待が現実にならなくてゆく春迎えになってほしいものである。



春の訪れ 須磨・明石海峡のイカナゴ漁が2月28日解禁 巷のあちこちに釘煮のおいが漂ってきます

◎ 春を一番先に感じる神戸の景色

きらきら春の陽光に輝く神戸 大阪湾の海



春一番 春の陽光に輝く須磨の海 こんな須磨海岸の景色が撮れました
2月半ば 所得税の確定申告をPCで作って 須磨海岸にある税務署へ持って行って
きらきら春の陽光に輝く須磨の海を眺めながら、海岸を歩いて帰る



きらきら輝く春の海 神戸港島より眺めた大阪湾西部 2014. 2. 23.
神戸港島の市民病院から撮った景色 後で聞くとこの日はPM2.5が飛来した日
このきれいな陽光の景色も それかも もし そうならがっかりです

◎ 冬あやめ

寒い季節なのに 庭の片隅で こんなにきれいなあやめ「冬あやめ」が咲きました。



◎ 恒例の灘の酒蔵の蔵開き

伊丹「白雪」の長寿蔵の蔵開き 2014. 2. 9.



春恒例の伊丹「白雪」の長寿蔵の蔵開き 2014. 2. 9.

灘の酒蔵の蔵開きもまた、神戸・阪神間の春迎えの楽しいイベント

毎年 新酒の仕込みの終わった2月の半ばから3月はじめにかけて、各地の酒造酒蔵では その年の新酒の仕込が無事終わったことを祝い、また、蔵元の造るお酒のPRもかねて、春恒例のイベントとして、蔵開きが盛大に開かれる。

灘五郷・西宮・伊丹の酒造メーカーが集まる阪神間では、それぞれの蔵元が趣向をこらした蔵開きを開催。

珍しいお酒やワインの試飲ができ、お酒も安く買えるので、春の楽しみの一つ。

阪神・阪急電車の駅の案内掲示板にも沿線蔵元の蔵開きの案内が掲示され、蔵開きの各蔵元の蔵開きを巡って楽しむ人も多い。故郷が尼崎の私には、砂糖を来るんで焼いたり、粕汁に甘酒など伊丹「白雪」の酒の粕そして奈良漬などが、この季節になると食卓に出てきた 記憶があり、ここ数年伊丹に住む娘一家から誘いがあると毎年白雪の蔵開きを楽しんでいます。 今年も2月9日伊丹白雪の蔵開きを楽しんできました。

一番の土産は2000円で買い求める「白雪」福袋。今年は一升瓶の酒も入っていて、ラッキー。

伊丹は清酒発祥の地 出店で酒やビールの肴を買って、酒やビールなど色々試飲。

チョコレート味のビールにはびっくり。すっかり酔っ払って帰ってきました。



◎ 大阪落語紀行に 神戸ゆかりの桂福丸さん出演 NHK 番組より

1回/3ヶ月 神戸での落語会に仲間と一緒に応援している桂福丸さんがNHKテレビに出演
番組では大阪落語ゆかりの地や大阪落語に使われる小道具の紹介されました。
仲間と一杯やって ほろ酔いで聴く落語会が楽しみに。せっせと通ううちに
大阪落語だいぶ知るようにになりました。次は3月25日 楽しみにしています。

2015.2.21. NHK大阪 5時10分より「ゆうどき」に
桂福丸さん落語出演

50時に10分ほど前、流れていたTVに突然 桂福丸さんの顔
上方落語復興を成し遂げた師匠たちの顔も見られるという これはみんなに知らせねば……と。

NHK大阪「ゆうどき」
上方落語紀行
笑いの舞台を訪ねる



大阪落語の舞台となったゆかりの地を訪ねて、大阪落語を紹介する番組で、天満天神樂盛亭に出演中の福丸さんの役回りは、大阪落語になくてはならぬ高座小道具の紹介でした。
久しぶりに故人も含め、かつての大阪落語の四天王(松鶴が抜けている 枝雀は四天王の後か?)にも出会えました



2. 「ソチ五輪の放送に感動しましたか?」 何かおかしい「特別」の氾濫

ソチ五輪の開催中 どうも駅前の広場やスーパー周辺の人ごみが増えた。

「朝から晩まで おんなじ様なことばかりテレビに流れていて、まったくつまらん。

家に帰ってもしあない」との声が あちこちで聞かれた。

まったくその通り。 人ごみが増えたのは これか・・・と。

◎ よくもまあ まだ競技も始まっていないのに これでもかこれでもかと競技者の記録・プロフィールを流し続け、朝から晩まで感激をあおる。おかげで、流れている放送が今のライブ中継か過去の記録かもわからず、もうごちゃ混ぜ状態で、今ソチでやっている競技の進行すらわからない。 他人のやっているお祭りのドンチャン騒ぎほど面白くないものはない。

高校野球の試合の地元中継を他の地域の人に試合の始まる数日前から、が成り立っているようなものである。

放送する人も解説者もみな地元の素人解説者風。とにかく わあわあともりあげればいいと心得ている。

そんなもの ほかから見れば、誰が喜ぶのか……。

また、NHK 会長のこっけいな対応 この人本当に大企業で社長・会長をやってきた人なのかと思いたくなる。

公私混同がまったくわかっていない。 いわゆるエイシュの「特別な」人として 育ててきたのだろう。

「特別」が一人歩きしているのだ。 五輪のNHKの放送もやつぱりなあ・・・と。

◎ 猛進するアベノミックスもほころびが見え始め、最近の安倍さんの憲法論議も大阪の某さんの話もおかしい。 反対する人が少数だからといって、「多数決・二者択一」を錦の御旗に、民主主義の前提である「多数決・二者択一」を牽制する小異の余地を残すシステムを無視するなどもってのほか。

言葉を変えれば、小異の切捨ては、多数決・二者択一で選別された特別な人といえども暴走の何者でもなし。

でもこの小異に目を向けることを無視し、切り捨てることがなんと多いことか……………。

2014年2月28日 朝日新聞の天声人語欄 ▼《歴史認などをめぐるとの溝が深まる》の項の中に、ギリシャ哲学者の加藤信朗さんが省察(せいさつ 自分を省みて そのよしあしを考える)した次の言葉が掲載されていました。

「明治以来、日本人は特別なのだ、という意識で隣国と付き合ってきたのではあるまいか。

結果として、互いに『同じ人間である』という親しさの内に生きる秩序を作り出せなかった」

私は、この「互いに『同じ人間である』という親しさの内に生きる」・「親しさの内に生きる」という言葉 そしてそれに対峙する「特別なのだ」の言葉に強く引かれました。

この 「特別」という言葉の中に潜む横暴を配さないと日本は国際社会で生きられないのではないかと感じる。

しばしば 《人間みな兄弟》との言葉はよく聞かすが、「互いに『同じ人間である』という親しさの内に生きる」それを行動規範と意識したことはない。「そんな甘っちょろい事で何ができるのか」と総攻撃を受けそうである。

また、日本人は「特別」という言葉に本当に弱い。

この「特別」の言葉を背負うと何でもかんでもでき、そして 周りもそれを許してしまうのである。

周囲を見回すとそんな「特別」だらけである。

年寄りになって、そんな風潮に我慢ならぬとを感じるが多くなった。

これは外から見ると異常なんだ。

「特別」には 警戒せねばならぬと はたと気がつきました。

庶民はみんな知っていて、寝たふりしているのかも…………

でも 時代の変革が、それを許さないこと 明日はわが身も想定しておかねば…………

そんな不安感にもさいなまれる 70 歳である。

2014. 3. 1. Mutsu Nakanishi from Kobe



From Kobe 2014.4月

技術革新時代のニューリーダーでなかったのか?? 小保方さん

1. 日本は今 心のない時代に 今奮闘をならさねば・・・
2. STAP 細胞の小保方さん STAP 細胞は存在するのでしょうか…

1. 日本は今 心のない時代に 今奮闘をならさねば・・・



仮面の女神



縄文のビーナス



合掌土偶



縄文の女神



中空土偶

縄文の土偶 通称「仮面の女神」土偶が国宝になるとの報。うれしいかぎり。

ふくよかな女性像、豊穡・再生の象徴とか、女系家族の母・先祖の象徴などと言われるが、何のために作られたのかはいまだによくわかっていない。でも このふくよかでほのぼのとした女性像をみると何かほっとして 心地よい。

「日本人のこころのふるさと・心優しき縄文人」の象徴として、縄文のストーンサークルが取り上げられることがよくあるが、この縄文の土偶たちもそうなのだろう。

「戦さのない縄文」日当たりの良い森で狩猟・採取・栽培の豊かな生活文化を 8000 年の長きにわたって育んだ縄文人。

今 縄文人を振り返ってみる必要はないか……。

人類の歴史約 20 万年 地球激動の中を生き延びてきた一番の要因は「ヒューマン・協力&他を思う心の行動」が最大の要因といわれ、人間が決して、とびぬけた頭脳を持っていたわけでも、強かったわけでもない。

最近の研究では チンパンジーやゴリラばかりでなく、超能力を持つ動物が次々と見つかっているという。

生存をかけて 個人で連携することなく、他の動物との戦さに明け暮れておれば、それこそ激動の地球環境も相まって、人は絶滅していたという。

我々のルーツを遡ってゆくと、「すべての人類は母方の家系をたどると、約 12-20 万年前 アフリカで生きていた一人の女性にたどりつく」と言われ、「**現生人類の最も近い共通女系祖先**」だという。

このたった一つの母系が現在まで生き延びてきた。女系集団で生きてきたからこそ、生き延びてこられたともいわれる。

そして、この一団が幾度となく遭遇してきた生死の困難を乗り越えられた一番の要素はこの集団が「ヒューマン・他を思う心の行動」を受け継いできたからだという。

2012 年に4集にわたって放送された NHK 番組「ヒューマン なぜ人は人間になれたのか」は

その人類の歴史を具体的な取材を通して もののみごとに解説してくれた。

【Iron Road】 視聴・購読メモ「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」

NHK「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」 & 角川書店NHKスペシャル取材班「Human ヒューマン」

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human00.htm>

「集団の協力」はまだしも「他をおもう心」がメインの行動原理になるなんて・・・と当初は思いましたが、激動の中人類の遭遇してきた数々の困難を克服してゆくプロセスの具体的実証にびっくりし、心に強く残りました。

人類の進化系統図をみるとそのすごさが改めて分かる。

そんな人類の歴史の中で 大きな戦さもなく、1 万年の長きにわたって平和な暮らしが続いた森の文化 縄文。

縄文の後の弥生時代から現代まで 約 2500 年 戦さの歴史と対比してみると そのすごさにびっくりする。

そんな中で、「心優しき縄文」の例として、幼いときに小児麻痺にかかった少女が、その後成人し、人生を終えるまで、縄文の村で生活を続けられたことを示す人骨が北海道入江貝塚から出土した。

「心優しき縄文人 まさに他を思うころろ」が この仲間集団が この少女を守り抜いたと。

ふくよかな縄文のビーナスを見るたびに そんなことを心にとめ、「縄文帰り」と私は呼んでいる。

今 また こんな話を持ち出したのは 今の社会高度情報化社会 グローバル化の大合唱の中 まったく周りを見る心すらなくなってきた、《自己中心》をひた走っているように見えるからだ。

数をたのみ、自分たちの思うままに強行突破してゆく今の政治に本当に先はあるのだろうか……。

日本沈没の道をひた走りに走っているのでは……と。

**グローバル・国際化・デジタル化・中央東京集中 ⇔ 地域循環型経済・アナログ対面への回帰・地方
そして、正規・非正規の雇用の2極分化**

格差の広がりは目をおおうばかり。我々庶民にも目に付くようになってきている。

反論を承知で、「今 日本では 政治・経済・教育 何をとっても 競争を口にして、“自己中心”になっている」

また、すぐに新興国との競争を口にする姿勢者 でも日本もそんな時代を経験して今がある。

そんなルーツをほうかむりして、今の刃を新興国にも向けなくてはなるまい。

この同じ視点を **グローバル・国際化・デジタル化・中央東京集中 ⇔ 地域循環型経済・アナログ対面への回帰・地方
そして、正規・非正規の雇用の2極分化** にも。

他を犠牲にした政治・経済の特出はいずれ 問題を起こすと……。

なにか おかし

い昨今 老兵にはなんともはや 住みにくくなりました。

激動・変動の嵐が吹き荒れるむづかしい時代

アベノミックスが何でもかんでも解消してくれるというムード作りが進んでいるが、ほんとうだろうか???

正規・非正規雇用の雇用格差は経済・教育・人口問題等を含め、確実に日本をハイスピードで歯止めの効かぬ格差社会化を推し進めている。

東京と地方の格差はますますひろがり、東京一極集中 大企業一辺倒の政治しか頭のない政府

「頂点同調主義」の声を待つまでもなく、日本人は自分の頭を見て、考えなくなった。

仲間の顔色を見るのが処世術の社会に事の真偽を確かめるすべも持たず、

大量情報が容易に手に入るインターネット・スマートホンにどっぷりである。

人が割り込める余地は日に日に狭くなっている。

情報も仲間も何の疑いもなく無節操に手に入る時代

唯一頭の中には 仲間から取り残されまいとする脅迫観念にさいなまれている。

冷静に考えれば ちょっとおかしくはないか……

人類の歴史 20 万有余年

「ヒューマン」たる由縁 激動の地球環境を乗り越えて 生き延びてきた唯一の力は「他を思う心」の行動。

人に会って他の動物にないものそれが「他を思う心」だという。

今の日本で一番忘れられているもの。そして、戦後 日本人が捨て去ったものが「他を思う心」かもしれない。

ストップ ザ 雇用格差 を叫ばないと 日本社会は崩壊の危機に立っている。

「日本は戦後という呪縛から脱する中で

戦後 広く社会で議論されてきたことすべて捨て去ってしまった」という外国メディアの直言。

一度 耳を傾けてもよいのではないか。

「心優しき縄文人」言葉も金も持たぬ狩猟・採取自然の中で 厳しい環境の中で生きた縄文人の村で

小児麻痺に侵された幼い少女が、成人して死ぬまで、村人たちに支えられて生き延びたという。

今 国際化・グローバル化の対極として地域循環自立経済の仕組みに身を投ずる若者が増えつつあると聞く。

無責任には言えないが、老兵の身にはうれしい限りである

2014. 4. 1. from Kobe Mutsu Nakanishi

2. STAP細胞の小保方さん STAP細胞は存在するのでしょうか…

「万能細胞の iPS 細胞をつくるには、いくつかの遺伝子を細胞に入れねばならぬのに、酸性の液体につけるだけで 万能細胞の STAP 細胞ができる」との小保方春子さんほか 14 名共著の論文がネイチャー誌に掲載されたと発表。

一大センセーションを巻き起こした。

すごい発見が30歳そこそこのまだこれからの女性研究者によってなされた。



◎ 虚像と実像 どっちだろう…

会見を聞いていて、今まで見てきた私の知る若手研究者像とは全く違うのに、びっくりするとともに、これがこれからの激動の時代を担う若手研究者像かと今後を期待し、おおいに拍手喝采したのですが……

ところが、その論文の記述・画像にいろいろ疑義が生じ、数多くの人たちが その論文手法に批判を浴びせている。本当のところは どうなのだろうか……

また、名もある数多くの共著者が、彼女一人を批判の中にさらしているのにも、カチンとくる。

◎ 論文発表の会見で彼女は「この発見 誰も信じてくれないのです。どう 納得させたいのか…」という。

「そうや そうや 新しい発見に批判はつきものだ」と。

また、その後、論文の記述・証明写真の加工など論文の作成の中身にあれやこれや集中砲火が浴びせられている。鬼の首を取ったような批判のされ方にもびっくり。

◎ そんな重箱つつくような問題よりも 発見したという STAP 細胞がほんまなのかどうかの検証が本筋だ。

大センセーションを巻き起こしたのは この STAP 細胞なのだから……

この真偽がきっちり抑えられることにより、今問題にしていることも おのずと明らかになると。

小保方さん 共著者 理研など まずやることは この STAP 細胞の証明と証明できないならその位置付けをクリヤーにすることだろう。それが この論文の一義的責任だと思うのですが……

論文加工の問題に小保方さんに問題があったにしろ、先の言葉にあるように、証明のため いかにも内容をクリヤーにするかとの意思は当然あったろう。まず 小保方さんの論文加工の問題よりも、STAP 細胞発見の真偽が知りたい。

論文記述の加工の問題は それぞれの部署がクリヤーにすべき問題で、話題を大きくすべき問題だろうか……

発見会見時の小保方さんは虚像 それとも実像?? それよりも STAP 細胞発見の真偽をまず知りたい。

あとは 先の東大の誰やったか… 人のうわさも……である。

◎ なお、小保方さんの論文についての調査の矛先 14名共著ではなかったか…

分野レビューに他の論文コピーや他の写真からの部分加工・貼り付けが、論文批判の主になっている。

でも、今の時代 インターネットには情報は満ちあふれ、インターネットの資料を取り出し加工することも写真の部分加工もパソコンを使えば 自由自在。インターネット検索など小学生でもやっているし、批判するマスコミ 研究者の学術レビュー 説明プレゼン 雑誌・本等々 等々 世にあふれている。

すでに 大学生の報告には そんな提出物が数多く、それを見抜くプログラムソフトにかけて、チェックする事も多いと聞く。

コンセンサスが得られぬことであろうが、そんな時代に鬼の首を取ったような批判をする時代でなろう……。

それこそ 時代を知らぬ年寄の……と。

ドクターコースを出たての新進の研究者 多少 あまえがあっても 良からうとおもうのですが……。

◎ 忘れてはならぬが、発明・発見に捏造はだめ。加工はゆるされるのだろうか…

でも 最近の情報処理技術はその境界をも不明確になってきているのも事実。

でも それこそ そんな警鐘をしっかりとレビューし、捏造か加工か いずれなのかをクリヤーにすればすむ。

まだ、若いはずとした若手研究者の登場とその発想に STAP 細胞発見が証明されることを待っている

From Kobe 2014.5月 2014.5.1. by Mutsu Nakanishi

草木萌える新緑がまぶしい5月

懐かしい私の応援歌 かつてのTVドラマ主題歌「記念樹」

神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」に寄せて

「桜の苗が大きく育つ頃 僕らはみんな 大人になるんだ・・・」



草木萌える新緑がまぶしい5月【1】 神戸 新緑の須磨アルプス 若草町で 2014.4.18.



草木萌える新緑がまぶしい5月【2】 神戸須磨浦 須磨海釣り公園 鉢伏山ロープウェイ& 明石海峡 2014.4.12.

懐かしい私の応援歌 かつてのTVドラマ主題歌「記念樹」

神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」に寄せて

「桜の苗が大きく育つ頃 僕らはみんな 大人になるんだ・・・」



神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」 2014.4.4

題目も何もかも 忘れていたが、もう何十年も前に見ていたTVドラマの主題歌。でも、桜の花の下に行くとなつとも勝手に出てくる歌です。ふっと気になって インターネットを探すと、この歌が出てきました。そして、団塊の世代には忘れられない歌として、数多くの人たちが愛着をもっていると。私だけではないんだ。団塊の世代の応援歌なんだと・・・

桜の苗が 大きく育つ頃僕らはみんな 大人になるんだ・・・
馬淵春子さんが主演で、一本桜のある養護学校が舞台のTVドラマ「記念樹」の主題歌。この施設の保母さんと卒業して社会の荒波にもまれる仲間との交流がテーマで、様々な問題を抱えた仲間が描かれていたと記憶。なぜか 毎週見ている、涙ぐむことも・・・

歌の題名も歌っている人も全く記憶がないのですが、桜の花を見ると いつもメロディーと歌詞が自然と出てきて、歌います。なぜか 無性に懐かしい。

記念樹 作詞:木下忠司 作曲:木下忠司

うれしくなって、かつて見に行ったことのある日本各地の「一本桜」の写真を引っ張り出してこの歌をBGMにして、スライド動画にまとめて、ゆったりと当時の記憶をたどりながら、楽しみました。なんで 急に頭に浮かんだのだろうかでも 本当に懐かしい

◎ 団塊世代の応援歌<1>
なつかしい歌「記念樹」をBGMに
「日本各地の一本桜」をスライド動画に

<http://www.infokkna.com/2014htm/mutsu/1405kobe00.htm>

インターネットを探していて もう一つ記憶にある応援歌が浮かんで来た。

桜の苗が 大きく育つ頃
僕らはみんな 大人になるんだ
あいつと こいつ あなたと私
真赤な頬っぺは しているが

日照りのときも 冷たい雪の日も
負けたら駄目だぜ 僕らの夢は
いつでもお前と 仲良しこよし
空までぐんぐん のびてゆく

嬉しきや泣いて 悲しきや笑うんだ
仲間がみんな 見てるじゃないか
それでも淋しきや 大きな声で
呼んでみるんだ “母さん” と

冷たい風は 僕らをためすのさ
白い粉雪は 花びらのさ
泣いたら駄目だぜ そこまで春が
来てるじゃないか 手をのべて

桜が咲くと いつも懐かしく思い出す歌がある。
馬淵春子さんが主演で、一本桜のある養護学校が舞台のTVドラマ。この施設の保母さんと卒業して社会の荒波にもまれる仲間との交流がテーマで、様々な問題を抱えた仲間が描かれていたと記憶。なぜか 毎週見ている、涙ぐむことも・・・

歌の題名も歌っている人も全く記憶がないのですが、桜の花を見ると メロディーと歌詞が自然と出てきて、歌います。なぜか 無性に懐かしい。



From Kobe 2014
6.

【From Kobe 2014.6月】 June Bright 春から夏へ 梅雨時前の輝きの中で 【1】

6月になりました 野山も里も春から夏へ 様相を変えるのに忙しい梅雨時前の息吹き

◆ 6月の到来を告げる花 ばら・花菖蒲・紫陽花 2014.5.30. 神戸須磨離宮で
今年もほのかなバラの香りが漂い、池では花菖蒲が咲き出しました



◆ **東播磨の田園では 麦秋と水が入った田地が交差する 西神戸で**
 田畑に響く鳥の声 そして 梅雨時前の準備で 忙しく働く人の声が聞こえてくる
 ゆったりとした時の流れに身を置く心地よさ
 でも この日 PM2.5が最高値に 遠くかすむ明石の海 海峡大橋はほとんど見えず



西神戸 雌崗山から眺めた西神戸の田園 2014. 5. 29.



麦秋を迎えた西神戸 稲美の麦畑 2014. 5. 20.



田植えの準備に忙しい西神戸の田園 2014. 5. 29.

◆ 庭に咲いた草花 今年はこのほかバラが美しく咲きました 念願のモッコウバラのアーチも



◆ 若者たちの中に飛び込んで 元気一杯



グリンスタジアム神戸で 応援に熱狂する若者たち 2014. 5. 23.



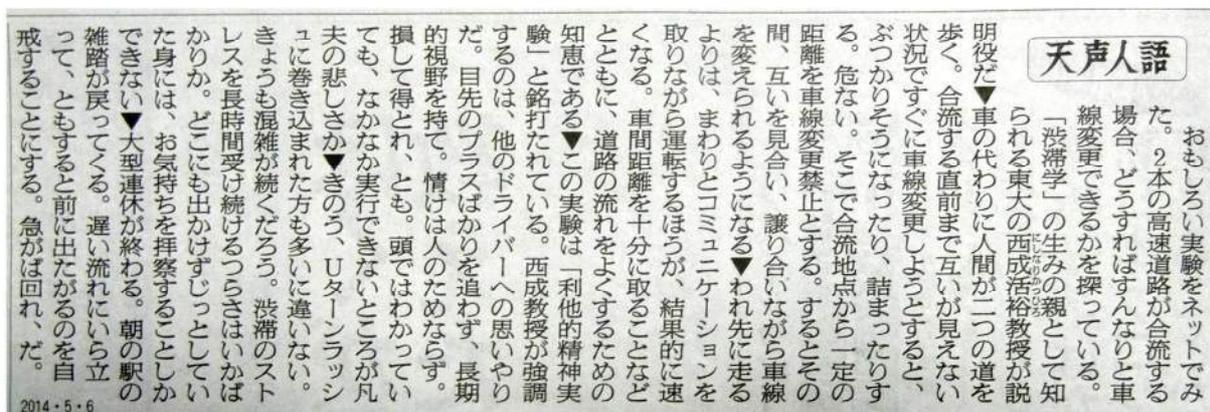
加古川の土手を行く高校生たち 2014. 5. 20.

6月になりました 野山も里も春から夏へ 様相を変えるのに忙しい梅雨時前の息吹き

◆ 競争社会から成熟社会へ移行する日本に必要なのは「縄文かえり・心の優しさ」では・・・
朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・

ヒューマンを特徴づける「利他的精神」がこんなところにも

2014.5.6. 朝日新聞「天声人語」より



人間が人間たる由縁は「他を思いやる心」を持っていること。 現生人類が現代にまで、幾多の苦難を乗り越え、
文明を発展させて 今まで生き延びることが出来たのは、この「他を思いやる心・利他的精神」を持ち合せていたからだという。
そんな「心やさしき」縄文人は 世界3大文明に先駆け、縄文文化を花開かせ、日本人の心のふるさととなった。
激しい競争社会が展開させる現在 今一度 この人類史の現実をみつめ直す必要がある。
ややもすれば 自己責任を強要する現代社会への警鐘 こんな身近な例からも社会を考えるヒントがある。

2014.5.6. from Kobe Mutsu Nakanishi

私はよく「心優しき縄文人 縄文帰りの言葉をよく使うのですが、「核・武装」を持って他を征しても、決して平和
をもたらさないことそして、「自己責任を強要する過酷な競争社会が幸せな暮らしをもたらさない」ことに 多くの人が
気づき始めている。

また、限界集落と騒がれた時代から今や放っておけば、地方都市までもが、がここ数十年で多数消滅してしまうことが、
現実を持って語られる。そして、これらを解決する方法として 過度な中央集権を捨て 里山主義・地域活性に舵を切
ることを唱える人々が多くなってきた。

また、地球の厳しい気候変動の中を生き延び、現在の人類の繁栄をもたらした由縁が 唯一「他を思いやる心」にあっ
たこと、そして 環境変化の厳しい縄文時代この狭い日本列島で、数千年にわたり豊かな暮らしを保ちえたのも「心優
しき縄文人」であったからだと説く人たちの声が大きくなっている。

人類の生きながらえてきた歴史の道を眺めると過酷な環境変化と食糧難に直面して、数多くの道が次々と閉ざされ
てゆく中で、たった一つ「他を思いやる心」から、数々の知恵を編み出し、協力して困難を克服したグループだけが今
に命をつないできたことを示している。「人が人に武器をむけては生きてゆけず、いずれ滅亡の道をたどる」と。

「何千何万年前の記録などないのに、なぜそんな事が言えるのか??」との
疑問もあろうが、日本には何万年にもわたる地球の記録を正確に残し伝えて
くれている場所がある。

何万年もの間 荒らされることなく静かにその時々生きて動植物・そし
て環境変化の記憶を一年ごとに封じ込め、年縞模様として正確に記録して
きた地球の物差し 若狭 三方五湖の一つ早月湖の底に堆積した年縞で、
水月湖は水面から湖底までは 34 メートル。その湖底の下には堆 積した
73 メートルの泥の堆積層がある。このうち、上部 45m に 7 万年分の「年
縞」があることがわかっている（下部の 28m は「年縞」がない 15 万年分
の泥）。

この約 7 万年かけて積もった 45 メートルの堆積泥が 1 センチの欠けもな



く連続して得られれば、世界初の7万年分の歴史のモノサシになる。日本では年輪年代法が確立され、年代校正曲線として広く知られるようになったが、長年にわたる年輪年代測定研究の推進リーダー環境考古学者 安田喜憲氏たちの研究の成果として、数万年にわたる地球年代計測の校正曲線として、この早月湖の年輪が国際標準として採用され、日本列島を含め、世界の地球環境変化の歴史が明らかになってきた。

この年輪年代測定研究の推進リーダー安田喜憲氏もこれらの研究成果を踏まえ、厳しい地球環境変化の中、約8000年にわたって、豊かな森の生活を持続させた縄文社会の生き方を学ぶべきだという。

「自然との共存、人と人との平等、家族の絆」という縄文社会の人々の生き方に学ぶべきだと訴える。

- 安田喜憲著「一万年 気候大変動による食糧革命、そして文明誕生へ」
- NHKスペシャル取材班著「ヒューマンヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」

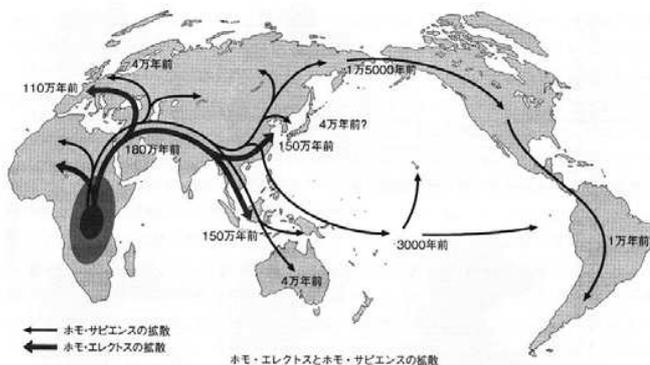
まだ 経済最優先の今このことを「なまちょろい」と考える人も多いが、これは歴然としてきた人類がたどってきた道である。いま 一度 この人類が歩んだ道を見るべきだと・・・。

こんなことを IT 情報社会に「ドゥプリ」とつかった若い人たちに伝えればよいのだろうか??? と思い悩んでいた時に、朝日新聞の天声人語に上記の記事が掲載されました。

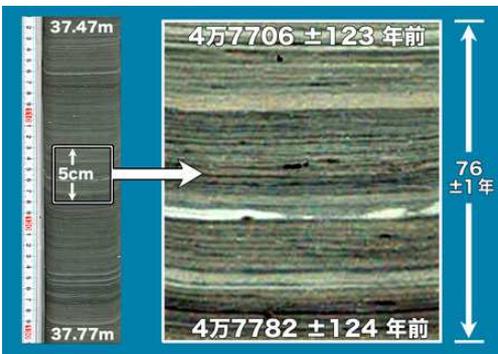
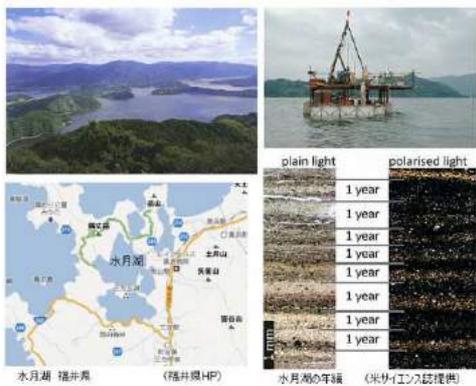
社会が大きく動いている今の時代 こんな見方もあるのだと・・・。



地球 最終氷期の気候



ホモエレクトス・ホモサピエンスの拡散



水月湖の「年輪」の一部。下図は湖底の堆積層のボーリングで得たコアの一部で上下の数字は掘削したコアの深度。5センチ幅の中に76年±1年の「年輪」がきれいに残っていることがわかる。

年輪からわかること

1年単位で年代を特定できる年輪には、木の葉や花粉、火山灰や黄砂などが含まれています。それらを分析することによって、過去の気温や水温、気候などの変化を年単位で復元することが可能です。7万年にわたり堆積した水月湖の年輪は、過去の自然環境を知る貴重な情報源であるといえます。

年輪からわかる過去の気候変動

年輪に含まれる落葉や花粉からは...

年輪に含まれる葉や花粉の化石からは、湖周辺に生育していた植物の種類や、その当時の気候、環境がわかります。植物の種類の移り変わりを調べることで、気候や環境の変動を知ることができ、年輪によって当時の様子を年単位でくわしく知ることができます。



水月湖の年輪に含まれていた葉の化石 (写真提供: 水月湖プロジェクト)

年輪に含まれる火山灰・黄砂からは...

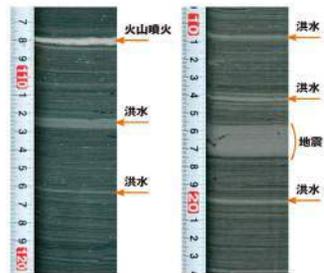
年輪には、火山灰や大陸から偏西風に乗って飛んでくる黄砂も含まれています。火山灰からは火山が噴火した年代、黄砂からは偏西風の風向きの変化などを知ることができます。



堆積状況の変化からは...

非常に薄く堆積していく年輪ですが、よく見ると、厚く積もったところや、色が違うところがあります。これらは地震や洪水の跡です。地震が起きると、湖の周りから大量の土砂が流入し、厚い層が形成されます。洪水が起こった時も堆積状況に変化が見られます。

水月湖の年輪を調べると、地震によってできた厚い層が、過去3万年の間に12か所見つけられました。地震や洪水の履歴は、将来の災害予測への活用が期待されています。



水月湖の年輪 (部分)

【人類の進化 歴史年表】



現代	ヨーロッパ	アフリカ	アジア	気候・外敵	共認・観念機能の進化 (言葉・道具)	社会構造 (集団・婚姻・生活様式)	形質 (二足歩行・ハダカ等)
1万年前	現代	現代	現代	・ヤングドリアス期(13~1万年前) 温暖化→急激な寒冷化へ	・弓矢(1.5~1万年前)、細石器、骨角器の登場	・農耕始まる(1.1万年前)シリア 寒冷化・乾燥化への対応策 ・洞窟からの脱出	
5万年前	現代	現代	現代	・バイソン等の大型動物が生態 ・スマトラ島火山爆発	・複雑な言葉の使用(7.5万年前) ・尖頭器、柄のついた削器の登場		
25万年前	現代	現代	現代				・脳容量 1200ml
50万年前	現代	現代	現代				・リス氷期 (25~15万年前)
100万年前	現代	現代	現代				・ミンデル氷期 (50万年頃) ・ギュンツ氷期 (30~10万年頃) ・ドナウ氷期 (150~100万年頃)
200万年前	現代	現代	現代	・洞窟の中で、ヒビと一緒にヒョウに襲われ捕食される ・死肉漁り、骨食、木の根が主食	・石器の使用(ホモハビリス) ・言葉は発声は出来ないが手話で伝えている?		・脳容量 600ml
300万年前	現代	現代	現代	・水期に入り、乾燥化→食料不足 ・フンに捕食される(深いひっかき傷あと) ・北半球に氷床=急激な寒冷化	・自然外圧注視→自然との期待・希望 →モチネリングで、肉体的交わりのない者も充足するセックス ・石器使用始まる		・直立二足歩行の完成
400万年前	現代	現代	現代		・仲間内で食べ物を分配 →共認機能で充足を与え合う		・脳容量 400ml
500万年前	現代	現代	現代				
600万年前	現代	現代	現代				
700万年前	現代	現代	現代				
6500万年前	現代	現代	現代	・南極の氷床(4000万年前)			
1億年前	現代	現代	現代	・新生代の始まり →葉巻により哺乳類、鳥類、被子植物の多様化			
2億2500万年前	現代	現代	現代				

◆ From Kobe 2010.11月より

縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村

幼くしてポリオにかかった少女が 縄文の村で みんなに守られ ずっと暮らしていた

「景色のいい素晴らしい高台に暮らす心優しき縄文人」「縄文のこころを映すストーンサークル」と 縄文に魅せられて縄文の遺跡を訪ねはじめて、もう10数年になる。

先日 テレビを見ていたら

「狩猟・採取 自分の食糧確保に精一杯であった縄文時代に 4000年前の北海道の縄文の村で 幼くして小児麻痺にかかった少女が 成年期を経て一生みんなに 見守られて その村で暮らしていた。 その痕跡を示す骨が北海道洞爺湖の近く噴火湾や有珠山を望む入江貝塚縄文遺跡で見つかった」と。

■ 入江・高砂貝塚縄文遺跡



北海道洞爺湖の近く噴火湾や有珠山を望む海岸の高台にある縄文時代前期から後期(約5000~3500年前)にかけて形成された貝塚・住居・墓を伴う大規模な集落。

<http://www.town.toyako.hokkaido.jp/iritaka/index.html>

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dbs/joumon/remains/is_iritakasago01.htm

● ポリオで20歳まで生きた 縄文時代、家族が介護？

西日本新聞 「先人たちのカルテ 病とともに」 2008年11月02日の記事より 抜き出し

http://qnet.nishinippon.co.jp/medical/doctor/feature/post_673.shtml



1966、67年に北海道洞爺湖町の縄文時代の入江貝塚で出土し、「入江9号」と名付けられた約4000年前の人骨は、頭部が普通の大きさなのに、両腕と両脚が極端に細い。指や足の骨は、長い年月の間に分解し消えていた。

何らかの理由で四肢がまひして寝たきりとなり、筋肉が衰えて運動もできなかったため、骨が発達しなかったとみられる。鑑定した東京都老人総合研究所の鈴木隆雄副所長は「おそらく、ポリオ(小児まひ)の患者だろう」と推測する。

ほかの動物に狩猟・採取の生活をみると
「乳離れするまでは 面倒を見るにしろ
狩猟・採取の移動の中で 群れについてゆけなくなると置いてきぼり」
それが狩猟・採取の生活の厳しさである。
そんな縄文狩猟・採取の時代に 幼くして小児麻痺にかかった少女が
成年期を経て一生 多くの人たちに見守られ
てその村で暮らしていた。



麻痺の痕跡が動いた縄文後期人(小児まひ) 北海道 入江貝塚 縄文 考古学博物館蔵

「先祖を葬った墓地の広場を丸く取り囲んで堅穴住居を連ねて暮らす縄文の村」「ストーンサークルでの祭」そして「再生を願う渦巻文様」などなどが「戦さを知らぬ心優しき縄文人」の精神生活を示す象徴と言われてきましたが、直接その痕跡を見ることができなかった。

現代人が忘れかけている「こころの優しさ」を見るような気がしています。

この北海道洞爺湖の近く 噴火湾を望む海岸の高台にある入江・高砂貝塚縄文遺跡が「北海道・北東北の縄文遺跡群」として三内丸山縄文遺跡などとともに世界遺産の暫定リストに組み入れられていると。

うれしくなっていました。

蛇足ですが、「文字」の発明が「人間の文明・文化」を大きく発展させたとも聞く。

文字の発明が 事象を過去・現在・未来 ときっちり整理して コミュニケーション・伝達を円滑にしたことが 規律・社会性 そして複雑な道具を発明し、人間社会を円滑にしてきた。

遠くそんな文字のない縄文人でさえ、社会性を身に着けている。

急速に文字離れが進行し 「ビジュアル・デジタル・スピード」がもてはやされ、ひとりよがりの即物的な対応が社会の中心にある今、本当にこれでよいのか… と。

何か もっと先を眺めた知恵があるのではないかと 思える時代である。

今年の秋 ある仲間の縄文訪問ツアーの展示で「輪を持って貴し」の言葉を見ました

美しい縄文の村の高台にすわって ほっと一息 周りを眺めるのもよいものと
またまた 縄文がえりの勧めです。

2010. 11. 5. by Mutsu Nakanishi



仮面の女神



縄文のビーナス



合掌土偶



縄文の女神



中空土偶

「戦さを知らぬ縄文人」「こころの故郷・心やさしき縄文人」としてしばしば語られる「縄文」
「日本人の心の奥深さ・多様なこころ」がそこにある。



鹿角 大湯ストーンサークル



鷹巣 伊勢堂岱遺跡



青森 小牧野遺跡

縄文のこころを映すストーンサークル

心の奥底にしまいこんだ「心のやさしさ」「おもてなし」の「日本人の心の故郷」に立ち帰ろう。

2014. 6. 1. from Kobe By Mutsu Nakanishi

【 参 考 】

- 安田喜憲著「一万年前 気候大変動による食糧革命、そして文明誕生へ」
- NHKスペシャル取材班著「ヒューマンヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」

【 関連掲載 和鉄の道 From Kobe by Mutsu Nakanishi 】

- ◎ 新書藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践
<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf>
- ◎ 縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村
<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf>
- ◎ 縄文の心を映すストーンサークル
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf>
- ◎ 「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」 視聴・購読メモ
<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human.pdf>
- ◎ 和鉄の道 Iron Road 「縄文」掲載リスト
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/ironjyomon.htm>

ほか

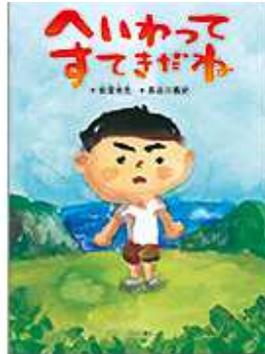
【From Kobe 2014. 7月】

内閣・自民党が猪突猛進する「集団自衛権」を今一度考えよう

小学1年生、安里有生君の詩「へいわって すてきだね」を今一度

昨年紹介した当時 小学1年生、安里有生君の「へいわって すてきだね」を今一度全文を紹介

昨年7月 私のFrom Kobe で紹介した
昨年の6月 沖縄全戦没者追悼式で与
那国島の小学1年生、安里有生君が朗
読した「へいわってすてきだね」の詩
が絵本として出版されたという。
これはうれしい。
すばらしい平和を願う心が今も強く
心に残っています。



へいわって なにかな。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのぼくのできることからがんばるよ。

安里有生／詩 長谷川義史／画

「そういえば1年たったなあ」と
思い出しつつ、心と「集団自衛権」の問題があたまをよぎった。

安里有生／詩 「へいわって すてきだね」全文

2013.6.23. 沖縄全戦没者追悼式で 1年生の安里有生君が朗読

へいわって なにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。
かそくが、げんき。
えがおであそぶ。
ねこがわらう。
おなかがいっぱい。
やぎのんびりあるいてる。
けんかしてもすぐなかなおり。
ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みなとには、フェリーがとまっていて、
うみには、かめやかじきがおよいでる。
やさしいところがにじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドドーン、ドカーン。」
ぱくだんがおちてくるこわいおと。
おなかがすいて、くるしむことも。
かそくがしんでしまって なくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。

へいわなかそく、
へいわながっこう、
へいわなよなぐにじま、
へいわなおきなわ、
へいわなせかい、
へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

政治の現実には憲法解釈を変更して、戦争・武力放棄から集団自衛権による武力的行使を可能に変更し、閣議決定した。
この政府・内閣の解釈変更で、憲法9条 戦争放棄条項は骨抜きに・・・
国会の議論すら経ずにてある。この「へいわって すてきだね」の思いが全く無視されたと感じています。
中国の海洋進出や韓国問題で危機感をあおり、「武力には武力で対抗する。武器なしではアメリカの核の傘に入れぬ」と危機感をあおった現実論が今を席卷している。

でも、心と現実論を言うなら、背後にアメリカの影がちらついていたといえ、平和主義憲法のおかげで、現実に戦争に巻き込まれなかったからこそ この60年平和な暮らしそして戦後の高度成長も持たされたのではないかと。もちろん 国際協力・行動のない平和主義をいっているのではない。

「平和ボケ」と言われても、一旦、武力を手にした途端 何が起るか 先が全く見えない闇であることの方が現実であり、また、国際社会では、多くの国が「武器では平和が得られぬ現実」を直視し、平和へのアプローチの模索に舵をきりつつあるのにと。

集団自衛権を振りかざし、この60年機能してきた平和主義を放棄する事こそおかしいと映るのですが、どうでしょうか????。戦後の平和の歴史を捨て、武力に猛進する姿こそ 何か別の意図を持った流れに見える。

また、何度となく見せつけられてきた「右のものを左といいぬける」強者の論理・集団の暴力で、三権分立もいつの間にか骨抜きに。平和憲法が国民的議論・合意もないままズタズタにされる気配である。

「武力では平和は呼び込めぬ」 「人が人として命をつないでゆく道筋に武力はいらぬ」

「人類の生き抜いてきた歴史」に掉さして 本当に生きてゆけるのか・・・

何とも言えぬ空虚な気分の中で、ご都合主義的な現政権の思惑に「歯止めをかけたいなあ」と行ったり来たりの今日この頃 もう一度この安里有生君の「へいわって すてきだね」の詩を読み返してみる。

やっぱり この「へいわってすてきだね」という安里有生君のメッセージ これが本物だと。

進歩がないなあと言われそうですが、今一度 平和の道を考え、全文を掲載しますので、是非 今一度 この安里有生君の「へいわって すてきだね」をご一読ください。

何とも言えぬ空虚な気分の中で、行ったり来たりの今日この頃

2014.7.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

【参考】 「へいわって すてきだね」の詩を紹介した昨年7月のFrom Kobe

【From Kobe 2013年7月】 2013.年7月 久しぶりの東京 2013.6.15. より

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1307.pdf>

【From Kobe 2014. 8月】 ひまわりの夏 2014 到来

《1》「私雨」「得意傲然」を排して

《2》「NHKスペシャル」『東日本大震災 復興 正念場の夏』 ～"建設バブル"と被災地～ を見て

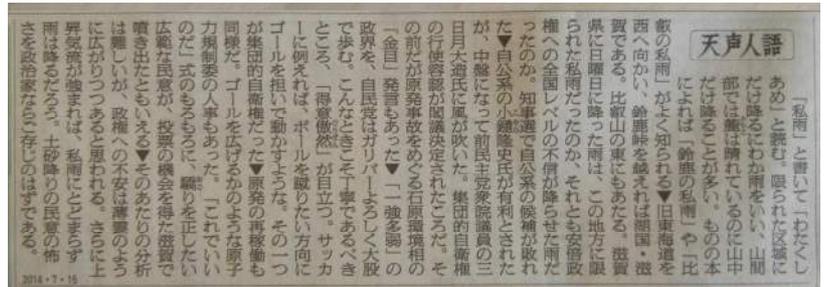
2014.8.1. by Mutsu Nakanishi

《1》「私雨」「得意傲然」を排して



先日 2014 年 7 月 15 日（火）朝日新聞の天声人語に滋賀県知事選で自民党系候補が敗れたことについてこんな記事がありました。

「私雨」と書いて「わたくしあめ」と読む。
限られた区域に降るにわか雨をいい、
山間部では麓が晴れているのに山ただけに降ることが多い。
「一強多弱」の政界を、自民党はガリバーよろしく大股で歩む。



こんなときこそ丁寧であるべきところ、「得意傲然」が目立つ。
サッカーに例えれば、ボールを蹴りたい方向にゴールを動かすような。その一つが集団的自衛権だった。
原発の再稼働も同様だ。ゴールを広げるかのような原子力規制委の人事もあった。
「これでいいのだ」式のもろもろに、驕りを正したい広範な民意が、投票の機会を得た滋賀で噴出したともいえる。
政権への不安は薄雲のようにひろがりつつあると思われる。上昇気流が強まれば、私雨にとどまらず雨は降るだろう。
土砂降りの民意の怖さを政治家ならご存知のはずである。

2014 年 7 月 15 日（火）朝日新聞の天声人語より 抜粋

「私雨」・「得意傲然」 うまいこと表現するなあ . . . こんな言葉があったのか . . . と。
「鈴鹿の私雨」に「比叡の私雨」は有名だと。
今我々が眼にするのは「私雨」なのか それとも「全国レベルの土砂降り」の前兆なのか . . .
でも 安倍政権の顔に「得意傲然」が益々眼につくと
一極集中 誰かのおこぼれを待つなんて もう沢山。
みんながみんなに明るさが届く政治へ早く舵をきってほしいもの。

8月 ひまわりの夏到来

真っ青な空に向かって背を伸ばし、一斉に太陽を見つめる黄色い元気な顔・顔・顔

「私雨 なんて 吹っ飛ばして そんなひまわりの夏」へ

頭を空っぽにして 明るいひまわりを見つめてみては . . .



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



佐用のひまわり畑で 2014.7.22 佐用町林崎で



2014.7.22 小野市ひまわりの丘で

7月25日夜「NHKスペシャル」

《2》『シリーズ東日本大震災 復興 正念場の夏』～“建設バブル”と被災地～を見て

2014.7.26. by Mutsu Nakanishi

7月25日夜「NHKスペシャル」で『シリーズ東日本大震災 復興 正念場の夏』～“建設バブル”と被災地～が放送。

先日旅した三陸沿岸 東日本大震災被災地の様子が映し出されていました。

得意満面 自己陶醉としか見えぬ安倍首相やオリンピック バブルに沸く東京と対比して写される被災地の現実の厳しさに涙と共に悔しくて悔しくて……。

先日三陸沿岸を旅した時には「できるだけ、厳しいところは自分の胸に。明るい方向が見えることを伝えよう」としてきましたが、現実はこのことにひどいとは……。

先の衆参両院選挙 自民党公約は「震災復興が第一」これは今どこからも聞こえない。
東京オリンピック そもそのアピールポイントは
「震災から復興した日本・東北の姿を世界にみせよう」
この声はそれを声高に叫んだ人たちからも全く聞こえず、「オリンピックを成功させるために未来都市東京」がいつの間にか旗印に。
アベノミクス 全国の公共工事のバラマキや東京五輪などで、全国で建設工事のラッシュ。
人材や資材が不足し高騰。原油の高騰もあって、建設コストが30%以上にあがっている。
しかも仕事は都市圏集中でいくらでもあると。まさに建設バブル。
震災前の「コンクリートからヒトへ」はどこへ行ったのか・・・
被災地では 復興事業の「入札不調」がもう常態化 生活復興の基盤となる復興事業がもうどうにもならぬ事態に。
被災地の人たちの悲痛の叫びそして無力感が益々増幅しているこの現実
「復興はさらに遅れ、生活復興の目標もほごに」「時間がない 東北は忘れられつつある」と

今 被災地では個人・復興住宅とわず、住宅再建が一向に進まぬという。

原因はオリンピック・景気刺激のための東京・都市圏公共事業集中投資での建設バブルにより、被災地の建設建築現場に全く人が集まらぬという。5年間での集中生活復興の目標はずでに絵に描いた餅に。

復興住宅はいまだに計画の1/4 そして建設費の沸騰・人材不足で 被災地自治体が行う事業入札では不成立が常態化し、さらに入札参加者すらゼロの状態が続く一方、15万を超える仮設住宅生活者に多数の他府県避難者をかかえる被災地ではいまだに住宅高台移転地 沿岸部嵩上げ工事が進まぬ空地が目立ち、土地利用計画そのものが、未だに立っていないとが多いという。

一方、安倍首相の胸の内は判らぬが、なんと海外出張の多いことか…… それもトップセールスと称して大企業団体の代表者を引き連れて……。集団自衛権の憲法解釈変更の強引さ・「九州川内原発は何とかしますよ」との企業家への発言等々。

あの前政権時代のひよわさ・人の好さは影を潜め、一般国民を忘れ、仲間内の政治に走っているとしか見えぬ。

「自分の身は自分で守る」と簡単に言うが、生活基盤があって安定していない人たちにゆうのは酷。

生活基盤を奪われた人たちの基盤修復には時間を割かず、仲間内政治に走る。

今ほど「頂点迎合主義」の危うさが見得ているときはなし。

番組の中で被災者たちが異口同音いう悲痛の叫びとしか言いようのない言葉が、耳をはなれませんでした。

「東北はもう 忘れられつつある このまま忘れ去られていく」

「希望の5年間復興を信じてきたが、さらに待てというのか…… 我々にはもう時間がない」

また、同じく派遣労働に苦しむ人が 労働人口の約4割にも達し、そのしわ寄せが弱者にひたひたと……

「弱者」と言われても自分は… と思っていましたが、最近はその現実が自分の直ぐ傍で、眼にする機会が多くなった。

「牛丼すきや」の話もそうだ。パワーアップと称しての強がりの中「パイトの働き手が集められず、店が開けられぬ事態に」それも1ヶ所や2ヶ所ではなく、全国で……。

中国や東南アジア近隣の話とと思っていましたが、ついにすぐ近所で……。次を考えると恐ろしくなる。

一方 被災地の先を見据えた現実としてこんな声もある。

今、被災地の一番の難題は被災地のそこで生きて行くための雇用や生業再建に必須の津波襲来地域での土地利用。それがいまだにできないこと。都市計画など土地利用がハッキリせず、企業も個人事業主のヒトも非住宅としての何も建てられない状況で、産業再生から生業も雇用への流れが生まれぬ悪循環におちいつているという。

仮設の老朽化もありますが、この先、高台工事が終えて、平地に土砂が埋め立てられまでこの先、「住宅が建てられる」までには、長いところで3年以上はかかるところが沢山ある。

住民・自治体そして被災地の地場企業 それぞれが、疲弊しきって、目標も失い、無力感が漂中、「住宅再建」、「災害公営住宅」とともに、とりあえず急がなければならないこの緊急課題の実践に政権の中核が自ら取り組まないと被災地ではどうにもならない。

今 無力感の中に住民たちはいる。

機会があれば 是非「NHKスペシャル」『東日本大震災 復興 正念場の夏』～“建設バブル”と被災地～をご覧ください。

◆ 参考 番組紹介 2014年7月25日 放送「NHKスペシャル」
『シリーズ東日本大震災 復興 正念場の夏』～“建設バブル”と被災地～
「NHKスペシャル」 NHK 番組PR 紹介より



復興工事現場に工事に携わる人の数が本当に少ないのに驚き NHK 番組PR 紹介より
震災からの復興で大きな課題となっている「住宅の再建」。

いま思わぬ壁が立ちはだかり、先行きに暗雲が立ちこめている。全国で起きている「建設バブル」だ。

各地で公共事業が増加し、景気回復に伴いマンション建設なども進む中、住宅再建に必要な「人材」が不足、コンクリートなどの「資材」も高騰し、復興を思うように進められないことになっているのだ。

こうした事態に手をこまねいて復興を遅らせていっているのか・・・。

災害公営住宅の建設が今年ピークを迎える宮城県担当、住宅再建を担う地元の業者、そして自宅の再建を目指す被災者はそれぞれ、強い思いを抱き、様々な困難にぶち当たりながら「危機的な状況」を乗り越えようと苦闘を続けている。しかし、2020年に東京五輪が控えるなど、人材と資材の全国的な不足と値上がりが見込まれている。

この夏、住宅再建に走り回る男たちにカメラが密着。現場のルポをみつめながら、正念場を迎えている「復興」の進め方を考えたい。

インターネット NHK 番組PR 紹介より



ここに街があり、生活があった 津波から3年の現実 2014.6.8. 三陸沿岸の旅より

【From Kobe 2014.9月】

夏の終りと秋の始まりが入り混じる神戸で

- 1. 災害に備えを自己確認
- 2. 朝日新聞 ひとえきがたり 三陸鉄道 島越駅



神戸北野 異人館通り & 北野坂 過ぎゆく夏

【From Kobe 2014.9月】

夏の終りと秋の始まりが入り混じる神戸で

- 1. 災害に備えを自己確認
- 2. 朝日新聞 ひとえきがたり 三陸鉄道 島越駅
2014.9.1. from Kobe by Mutsu Nakanishi



実りの秋をひかえた西神戸伊川谷の里は頭を垂れた稲穂で一面まっ黄色に 2014.8.31. 西神戸 伊川谷で
 収穫を控えた田圃に忙しく働く人たちが見える
 ほかに イチジク・ブドウ・なし そしてクリと西神戸秋の味覚の出荷が始まってゆく

厳しい気象変化が続く昨今、夏と秋がிரりまじる9月 秋近し

集中豪雨に台風の襲来もあり、かんかん照りの日もないまま夏も過ぎようとしています。

ゲリラ豪雨による未曾有の被害が出た広島の方々に思いをはせています

毎日蒸し暑い曇り空に 急変する集中豪雨 身近にも異常と感じられた8月の夏が過ぎてゆく

穏やかな いつもの9月の空に戻ってほしいもの

でも 空には赤トンボが舞い始め、田圃を黄色に染めて 稲穂が風に揺れています

西神戸では 秋の実りのトップ イチジクの実にブドウの出荷も始まり、秋近し

さわやかな秋へ 気持ちも切り替え 無理せず 元気に過ごしたいと思っています

集中豪雨に台風の襲来そして、ゲリラ豪雨 「今までに経験したことがない」の言葉の乱発に「またか・」と

半端でない夏台風の西神戸上陸 すごい風雨でした。

この頃の台風 時期もそうですが、なにか違ってきましたね。四国に上陸したというのに、雨も小雨が降ったりやんだり。風もほとんどなく、また マスコミの騒ぐ割には 進路がそれたのか・・・と思っていたら、一転 空が騒ぎ曇り、すごい嵐。これは第二室戸以来の直撃風雨だと。風速 40m/s 忘れかけていた風雨でした。

また、5分おきに今後の予想も含め雨雲が移動変化してゆく様子が時々刻々PC 画像で見られ、もう間もなく雨もやむぞ・・・と。 すごい時代になりましたね。

幸い短時間で済んで、大きな被害なしでしたが、「これが長くつづいたら・・・」と思うすごい風雨。

つい 先日の広島の集中豪雨では 真っ暗な中で こんな時間がながくつづいたのだろうかなあ・・・と。

「一人よがりの経験だけでは どうにもならないなあ。。」との感じと 最近 必要以上に声高になってきた 「自分の身は自分で守る 判断力」の声。 年寄には過酷すぎる。でも 備えだけは やらないと・・・。

防災・避難経路と避難場所 自分なりにイメージ チェックもしたし、自分の所は大丈夫とと思っていましたが、同じ町内の知人がやってきて「東側の谷川が土砂崩れで埋まったら 水は直撃やぜ」という。

横の谷川は急傾斜で その下の深い谷へ流れ下るので、 上で池の決壊などで 大漁の水か出ても大丈夫と 思っていましたが、「これは想定外」

いたるところで 想定外が起こる。 そんな中での自己判断力が叫ばれる時代です

昔職場でよくやった「KY 危険予知」 やっぱり 予期せぬことを見出す大事な手法だと。

「一人KY もやらないかなあ・・・」と。

今「KY」なんて言っても通じないが、「安全の知恵」です

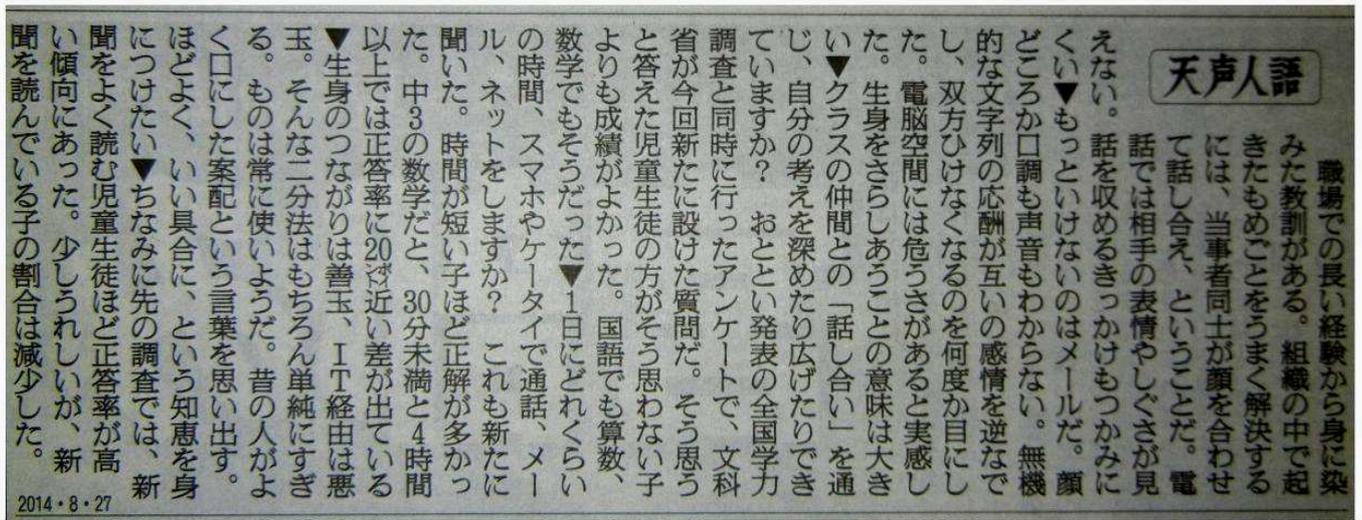
効率一辺倒の今 そんなもん 考える必要なしと一蹴されそうですが、

最近の「想定外」の多さの克服にはこんな 自分では 通常予想だにしない他人の知恵も借りねば・・・と。

また、8月27日の朝日新聞 天声人語氏は コミュニケーションの必要

ひとりよがりにつながりかねぬ電脳社会の危うさを指摘している。

こんな記事も参考になれば・・・と転記させていただきました。



色々 いつもと違った夏も終わり、秋がもうそこまで お互い 無理せず 元気で

また、広島そして東北の困難に立ち向かっておられる皆さんが 一日も早く 穏やかな生活が取り戻せますよう

2014.9.1. from Kobe Mutsu Nakanishi

毎度のぶつぷつ たまにはスカッとする話は・・・

それは みんなそれぞれ

左の一枚 先日 ナイター観戦で見かけた姿

大観衆を背に 独り立ち上がって

ビールを飲み干す

本当に 喉が鳴る

うらやましくて パチリです



◎ 朝日新聞 ひとえきがたり 三陸鉄道 島越駅 2014.8.26.掲載より

6月 三陸鉄道の島越駅を通過。 車窓より浜を含め、ちょっと印象が違うが、新しくきれいな駅舎を挟んで、高架の土盛り鐵路がトンネルからトンネルへ渡ってゆくのを見ました。

復興の象徴とずっと受け取っていたのですが、この島越駅周辺の津波被害のすごさと新しい駅・鐵路そして集落のことが、「ひとえきがたり 島越駅」として、新聞で紹介されていて、この島越駅と集落は津波で線路もろとも破壊され、現在復興した鐵路は新たに土盛りされた防潮堤の上に敷かれていますと知りました。



この島越駅前には バラバラになった人たちが盆踊ができる広場と加工センターが入るビルが建設され、村の人々が集う場所となって完成するという。一日も早く通常の生活がもどるようにと。。。。。

2014年(平成26年)8月26日 火曜日 享月 日 薬斤 島前 (夕刊)

しまのこし 島越駅 (岩手県、三陸鉄道北リアス線)

流された集落 再び集う場に

今年4月に全線復旧したばかりの三陸鉄道に乗りこえた鉄道ファンや家族連れが、新築の香りがする駅舎からホームに

出た。一列車が走る姿を見ただけで感動するなんて」と年配の女性。人影のない海岸に波が打ち寄せる。

7月27日、待望の新駅舎で窓口営業が始まった。青いドームが印象的だった前の駅舎は東日本大震災の津波で跡形もなくなり、線路は高架へと破壊された。三陸の駅の中でも最大級の被害だった。駅周辺にひしめくように立っていた100軒以上の家も駅舎とともに流された。住人は付近の仮設住宅などにちりぢりになり、高台にある早野さち子さん(62)の家だけが残された。「引っ越さなければ聞かれることもありすが、やっとならなから。でも、三鉄が戻ってこなかったら、どうだったかな」

1984年の三鉄開業以来、早野さんはこの家から駅を見てきた。海水浴客にきわむ夏場、駅に備えられたシャワーの使い過ぎて家が断水して困ったこともあったという。「今思えば、幸せな悩みだったのね」

高台に移転した新しい駅舎はドームと屋根を銅でまき、外壁にはレンガ調のタイルを使った。「東京駅のイメージですかと聞かれますが、そんなに立派じゃない」。駅舎を管理する田野畑村役場の工藤光幸さん(51)が笑う。「でも、誰に見せても恥ずかしくない駅にしたかった。自分たちも自信が持てますから」

駅前ではショベルカーが作業する音が響く。村は来年の夏を目標に、海産物加工場も入るコミュニティセンターや盆踊りもできる広場を造る予定だ。「それでこの駅は本当の完成です。津波ではなかった集落の人たちが、再び集まれる場所になれば」

(河瀬久美)

防波堤を兼ねた築堤の上を列車が走る。流された集落の跡に草草が茂っていた。上田順人撮影

今年4月に全線復旧したばかりの三陸鉄道に乗りこえた鉄道ファンや家族連れが、新築の香りがする駅舎からホームに出た。一列車が走る姿を見ただけで感動するなんて」と年配の女性。人影のない海岸に波が打ち寄せる。

三陸鉄道北リアス線は、宮古駅(岩手県宮古市)と久慈駅(久慈市)を結ぶ71km。震災後休止していた北山崎断崖クルーズが今夏から運航を再開。島越駅から徒歩10分の島越漁港から、1億1千万年前の地層や高さ200mの断崖を眺める約50分のコースを巡る。11月初旬まで、1460円。☎観光船発着所(0194・33・2113)。久慈駅や堀内駅は、昨年放送されたNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地。久慈駅すぐのあまちゃんハウスやもぐらんびあ・まちなか水族館には衣装や小道具、セットなどが展示されている。☎久慈広域観光協議会(53・5756)。

青森県 久慈駅 三陸鉄道 北リアス線 岩手県 宮古駅

ひとえきがたり

治線ぶらり

三陸鉄道北リアス線は、宮古駅(岩手県宮古市)と久慈駅(久慈市)を結ぶ71km。震災後休止していた北山崎断崖クルーズが今夏から運航を再開。島越駅から徒歩10分の島越漁港から、1億1千万年前の地層や高さ200mの断崖を眺める約50分のコースを巡る。11月初旬まで、1460円。☎観光船発着所(0194・33・2113)。久慈駅や堀内駅は、昨年放送されたNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地。久慈駅すぐのあまちゃんハウスやもぐらんびあ・まちなか水族館には衣装や小道具、セットなどが展示されている。☎久慈広域観光協議会(53・5756)。

興味津々

新駅舎から南に100mほど離れた旧駅舎跡地に、宮沢賢治の詩「発動機船 第二」の碑が残っている。海に対して直角に立っているため津波の被害をまぬがれた。同じく流されずに残った旧駅舎の階段の一部とともに、今後も保存される予定だ。

2014. 8. 26. 朝日新聞夕刊

なお、隣の普代では河口・谷が大堤防でふさがれていて、津波の被害は小さく抑えられたと訪ねた時に聞きました。判断一つで大きく変わる人の暮らし 本当に厳しい。 三陸鉄道が三陸沿岸に住む人たちの「絆」であると共に高く土盛りされた高架線路が防潮堤の役割を果たし、「命を守る鉄路」にもなってほしい。暮らしの復興へ 島越も普代もそれぞれ また 一歩 踏み出してほしいと。

from Kobe より Mutsu Nakanish

From Kobe 2014
10.

【From Kobe 10月】

澄み切った青空が続く季節に 元気に 飛び出しましょう !!

2014.10.1. by Mutsu Nakanishi

1. 初秋 神戸の観光 walking spot スポット 案内

2. 気持ちがほっとする 京都 東寺の弘法さん これは私だけか 2014.9.21. 京都 東寺の弘法市で

1. 初秋 神戸の観光 walking spot スポット 案内

10 数年ぶりに学生時代の仲間の同窓会で神戸にやってくるという 飲んで語ってとみんないうのですが、
そうはいつでも地元 観光スポットはちえっくしておかねば・・・と 神戸の観光 walking spot を久しぶりに歩きました。
神戸から地下鉄・電車で約 40 分の有馬を除けば 三ノ宮から walk 30 分圏内にもうれしい walking コースが幾つも
ほかにも そんな会がこの秋には幾つかあって、仲間に出会えるのがうれしい この秋です

◆ 坂の街「神戸」の展望台 再度山ドライブウェイの登り口 ピーナズブリッジ



◆ 北野 異人館通り & 北野坂



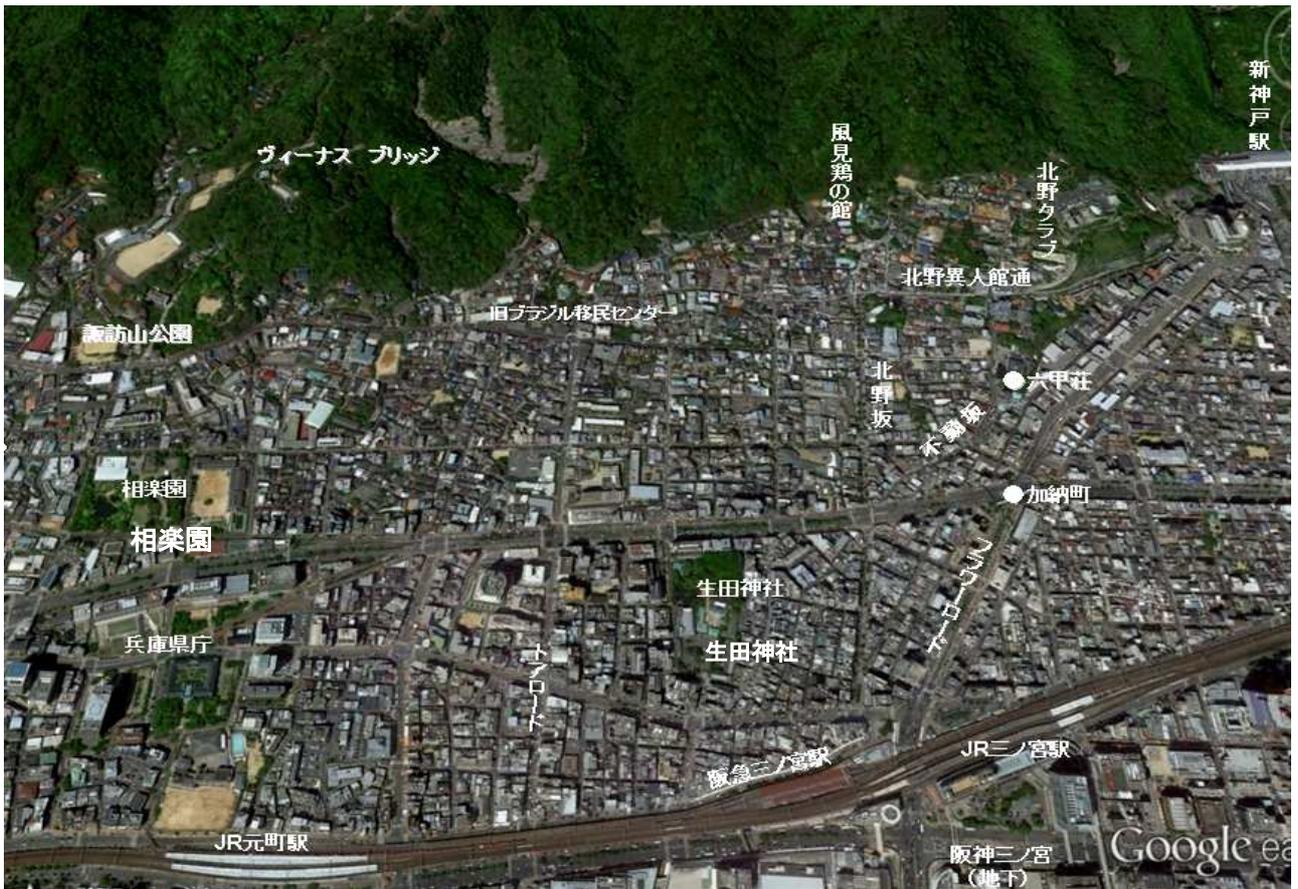


◆ 有馬温泉 日本で一番古い温泉 火山もないのに鉄分の多い金泉（赤湯）が今も湧き出している



【 参考 三ノ宮・元町・港 神戸市街地 google earth 図 】

神戸 三ノ宮から 徒歩 30 分圏内の観光 walking spot 図



2. 気持ちがほっとする 京都 東寺の弘法さん これは私だけか

2014.9.21. 京都 東寺の弘法市で



京都 東寺の弘法市 2014.9.21.

お彼岸の9月20日 庭に咲いた千日紅の花などを墓前に供えて ふっと息を吐く。
これも ふっと思い浮かんで「明日 八瀬の墓参りに行って 弘法さんへ行こか・・・」と家内に言うと「行こ」と即決。
21日は「京都東寺の弘法さん」 阪神間では「お大師さん」ともいい、お寺の境内や門前に「掘り出し物市」が立つ。
家内の目当ては 和服リフォームに使う着物布探し。私は 秋の帽子探し。 墓参りよりもこっちが主。
東寺の弘法市も年々盛んになって、出店も訪れる人も満員状態。
入れ替わりはあるのですが、だいたい同じ場所に同じ人が品物を広げている。
高価なものは買わないが、掘り出し物 安価で納得のゆく品が店主とのやり取りで買えるのが魅力で、すぐ置き忘れてなくてしてしまう帽子。 気楽に買えて「忘れてもままえか・・・」と納得できる弘法市の買い物を愛用。
家内もせっせと手に入れた着物布をほどこいて洗いなおしては和服地の鞆や服や小物に作り直しては 楽しんでいる。

21日 朝早く神戸を出て、まだ、9時過ぎなのに もう 東寺の境内は満員。 お彼岸と日曜日が重なって本当にすごい人出。
東寺北門のすぐ前のコインパーキングから車の出るのが見え、そこに来るもを入れる。今日はラッキー ついてるぞと。
「今日は紬地など 一つ3000円までのもの それに漬物と帽子 安いやつね」と家内が言う。多少??ですが、シッカリしてると。

東寺の門の所で、いつも反物を売っている人に「おじさん 模様の入ってない白生地ないの・・・ 去年 ここにあったんだけど」と家内が声かける。「ああ ごめん 今日は早ようから売れてしもたわ。カンニン 今度な」と。
こんな調子で出店に首を突っ込んではお目当てを探して歩く。店主も「ほか見てまた戻っといで」と気楽に声をかけてくれる。



京都 東寺の弘法市 2014.9.21



東寺 弘法さんで さすがに京都 土蔵から出てきた着物・反物を扱う店が多い 2014.9.21.

さすがに京都 若い人から年寄 家族ずれそれに外人さんと多種多彩。和服をリフォームしたおばさんも実に多い。「その紬 ええわ そらこっちがええよ」店の人ではない。ふと見ると 頭から首巻 足元まで 和服地で着飾ったおばちゃんが、横から口をはさむ。家内もすっかり その気になって「こっち買う それにこれも。二つ買うから ちょっとまけて」と。もう仲間や。「お茶代だけやで」と笑いながら女主人。奥のご主人が五百円玉1枚返してくれました。これもラッキー。



家内の着物布も買えたので、次は私の秋の帽子。
年寄臭くなく ちょっと違ったやつを買いたい。ハン
チングはかぶったことがないので一つ街歩きに買お
うと。予算は 2000 円までと以前帽子を買った出店
を探す。確か東門の近く。やっぱりありました。
街で買うより 品ぞろえが沢山あって 勝手に被って
もいいし、気楽に探せるのがうれしい。

別の店で 渋皮染めのええハンチングがあったので
すが、高かった。「これはどう」と女店主が帽子を差し
出す。「ええ言うても 自分では見えん」というと「鏡



持ってくる」と。「おばちゃん ハンチングとこれと2つ買うので 2000 円にして」「おばちゃん いうたから あかん」と笑う。
脈がありそう。「それやったら お姉ちゃん 2つ」これで 2000 円で 2つ秋の帽子を手に入れた。もう 置き忘れを気にせ
ず、帽子をかぶれる。家内がさっき行った店に戻って着物地を買うという。これは私の肩掛け鞆になりそうだ。
途中で、山椒入りの木の芽あえ そして 生八つ橋も買って、今日の買い物は終わり。
あっという間に1時間半 後はぶらぶら 境内の出店を見て歩く。



京都 東寺の弘法市 2014.9.21.

買い物に付いてゆくのはどちらかというと 嫌いなのですが、弘法市は楽しい。
特に目新しいものもなく、しゃれた店もなし。もう ごちゃまぜのアンティーク市ですが、こんだけ多くの人が集まり、しかも出店も同じ店が何年も続いている。その魅力は何なんだろうか……
ごちゃまぜで何でもあるが、その魅力ある豊富な品ぞろえは 今の街中ではなくなってしまう。
売りつける出なく 買う方も手に取って 気に入ったものを丹念に探す。
売る方も 買う方も こんなに仲間がたくさんいて 会話を楽しめながら 買い物ができる場所が街にあるだろうか。
人波でごった返す東寺の弘法市を抜けだすが、気分は爽快。家内との会話も弾む。
今日は ようしゃべったなあ こんな買い物久しぶり ええ帽子も買えたし 満足満足

かつての街の賑わい・街での買い物も こんな風であったように思う。また、偽物も多かったが、祭の楽しさもこれだ。街並にきれいな店が立ち並び、街中を分断して自動車がピュンピュン走り抜け、なにかよそよそしくなって、街から 人波と笑顔が消えてしまった。
「コミュニケーション・コミュニケーション」とよく耳にするが、中身がない。人は生きた会話に飢えているのではないか？。またぞろ 国際社会を生き抜くために、英語教育を充実しようという箱・制度作りが横行している。具体的ソフトもなしに 制度だけの「箱」作りが、ほんまに必要なのだろうか……
「玉石混合の情報過多の時代に そんなものより感性や。上滑りな即物的思考から 選択判断力・思考力見の醸成プログラム そして 仲間の中に飛び込む力」と。飛び込めば身振り手振りで 何とかなる。夢だと思っていましたが、あつという間に スマートホンにしゃべれば 英語に翻訳して表示してくれるし、初音ミクちゃんが翻訳して しゃべってくれる時代になったではないか……。
それこそ 街の会話も 看板の字も 翻訳されて眼鏡に写る時代がもうもう身近に…
色々 顔を出して 街に出て、声をだそう。イベントを長続きする連携の輪につながねば……と。
いま、地方再生の方策が叫ばれているが、整然とした冷たい未来都市づくりに精を出すより、泥臭いが、生き活きた生活臭のある街づくりが、今一番必要だと感じているのは私だけでしょうか……
弘法市から出てきて この爽快感はなんでやろうと ふっとそんなことを考えました。

2014.9.21. 京都 東寺の弘法さんの後で by Mutsu Nakanishi

語人天

職場での長い経験から身に染みた教訓がある。組織の中で起きたもめごとをうまく解決するには、当事者同士が顔を合わせ、話し合え、ということだ。電話では相手の表情やしぐさが見えない。話を収めるきっかけもつかみにくい▼もっといけないのはメールだ。顔どころか口調も声もわからない。無機質な文字列の応酬が互いの感情を逆なでし、双方ひけなくなるのを何度か目にした。電脳空間には危うさがあると実感した。生身をさらしあうことの意味は大きい▼クラスの仲間との「話し合い」を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできていますか？ おととい発表の全国学力調査と同時にやったアンケートで、文科省が今回新たに設けた質問だ。そう思うと答えた児童生徒の方がそう思わない子よりも成績がよかった。国語でも算数、数学でもそうだった▼1日にどれくらいの時間、スマホやケータイで通話、メール、ネットをしますか？ これも新たに聞いた。時間が短い子ほど正解が多かった。中3の数学だと、30分未満と4時間以上では正答率に20%近い差が出ている▼生身のつながりは善玉、IT経由は悪玉。そんな二分法はもちろん単純にすぎない。ものは常に使いようだ。昔の人がよく口にした案配という言葉を思い出す。ほどよく、いい具合に、という知恵を身につけたい▼ちなみに先の調査では、新聞をよく読む児童生徒ほど正答率が高い傾向にあった。少しうれしいが、新聞を読んでいる子の割合は減少した。

【 From Kobe 2014.11月 】

11月になり、朝晩めっきり寒くなって、周囲の木々も色好き始めました。

例年になく寒くなって、ここ数年 紅葉の見頃が随分遅くなってきていますが、今年は紅葉も早まりそう。

11月中旬に 十数年振り山仲間の同窓会を神戸でやることになって、紅葉の六甲から有馬へ行くことにしているのですが、それまで 紅葉があるだろうか・・・と心配。

例年になく同窓会が目白押し。そろそろ体力も限界 「今でないと・・・」とどの思いもひとしお。

多くの仲間に出会えるのが待ち遠しい。

戸外へ出へかけるのもよし また 秋の夜長家ででのんびりとするのもよし

そんな今日この頃 元気に過ごしています。そんな 神戸の秋 3つ

1. 10月8日夜 皆既月食 東の山の上高くに 赤い月

2. 久しぶりに疾走するモーターボートレース 2014.10.16. 尾崎センタープールで

3. 折込んで 小さく平坦にできる紙バック その折り目はとどこに ?????

秋の夜長 トライされては いかがでしょうか...

1. 10月8日夜 皆既月食 東の山の上高くに赤い月

東の山から半分かけた月が登り、さらに欠けて 皆既月食に。

天高く うすぼんやり赤いかけだけの「赤い月」がみられました。



皆既月食中の赤い月



皆既月食中の赤い月をちょっと大きくして合成

2. 久しぶりに疾走するモーターボートレース

2014. 10. 16. 尼崎センタープールで

秋の午後ふっと阪神電車を降りて 長いこと入場したことのない
尼崎センタープール競艇場へ

昔のイメージとはびっくりするぐらいきれいになっていた競艇場
男の格闘技 カラフルなモーターボートが疾走
凄い迫力 これは病みつきになると・・・
スタンドに座っていると いろんな思いが次々と・・・
こんな秋も



子供の頃 市の財政改善と学校施設の拡充のために始まったボートレース。街中を色々な人が行き交い、町中に轟音が響き、5km 以上離れた家近くでもその轟音が聞けた。教育上悪いと競艇場の周りは目隠しされ、唯一阪神電車の駅から眺められ、電車に乗ると尼崎センタープール前駅で降りて眺めていました。

そのセンタープール前駅も改修され、駅からも目隠しされ、わずかに武庫川を越えて駅へ入る手前の高架からわずかに見えるのみに・・・。

でも 怒られながらも 仲間と連れ立って 駅構内の金網越しに轟音を響かせ、疾走するレースを見に行ったもの。
ちなみに この阪神電車の「尼崎センタープール前駅」かつては日本一長い駅名で有名になり、また この周辺は線路と電車が並行していて、駅間隔の短い阪神電車の売り物「普通電車 ジェットカー」がスタートダッシュよく センタープール前駅を発車する姿が有名にもなりました。

戦後 50年を越え、街も大きく様変わり。次々と構想の建物も立ち並ぶようになって、このモーターボートの騒音も聞こえなくなってしまい、遠い記憶の中にしまい込んでいきましたが、電車から眺めるごとに、きれいな施設になったのに 人はガラガラ「あかんようになったんや・・・」と一人思い込みつつ、一度スタンドに座ってみたいと。



尼崎センタープール 競艇場 入り口と周辺

今回行ってみてびっくり、もう 戸惑うばかり。 駅から競艇場入り口まで 長い渡り廊下が伸びていて、駅の改札機と同じで、100円硬貨1枚入れるとガチャンと開いて、入場。舟券はみなマークシート方式だとおっちゃんが教えてくれました。

競艇場内は本当にきれいに整備され、かつての殺伐とした風景などはどこにもない。

立っている警備員の人に「写真撮っても大丈夫???」と聞くと、「顔にさえ向けへんかったら 心配いらん・・・」と。

食堂もレストラン キッズルームもあるし・・・スタンドは総ガラス張り。これで分かりました。

阪神電車から見て、心配していたガラガラのスタンド。みんなガラス張りの中にゆったり座って観戦しているのだと。

(平日でしたが、ガラス張りの中はざっと8割ほど。 やっぱり スナップ撮るのはやめときました)



メインスタンドは総ガラス張り 空調の効いた大空間

でも やっぱり 迫力は 外のスタンド 疾走するボートの上げる水しぶきの迫力はすごい。



外のスタンドはまばらでも ガラスの中は
満員に みんなゆったり楽しんでいる
プールの向こう側は目隠しされた
尼崎センタープール駅



舟券を買わないなら100円のみ レストランもコーヒーもゆったり飲めるし
ゆっくり過ごせる空間に。今 モーターボートは判りやすいので
人気なのだそう。でもギャンブルにおぼれぬよう。

晴天の午後 レースを楽しんで 元気をもらって帰ってきました。

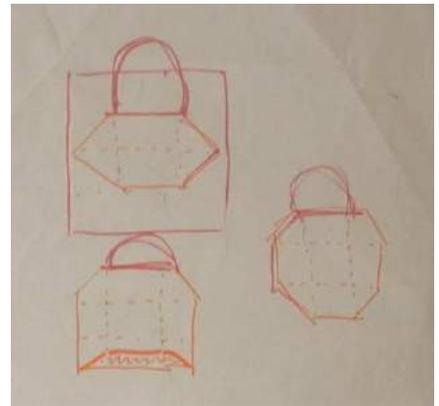
2014.10.16. 午後

3. 折込んで 小さく平坦にできる紙バック その折り目はとどこに ?????

秋の夜長 トライされては いかがでしょうか…



秋の夜長 家内が 紙バックを前において、紙と鉛筆を持ち出し、ああでもないこうでもない紙バックをひねくり回している。知人が紙に略図を書いて持ち込んだ難題 本に書かれていたのだそうですが、ごく普通の紙バックを折鶴のごとく折り畳んで小さくしかも平坦にする。イタリアのデザイナーがこのアイデアにヒントを得て、四角の革を並べて、それを折り込む形で作りこんで革製バッグを作って大ヒットをしたという。でも、その折り方というか、作り方がわからぬという。インターネット開いたり、色々ひねくり回していましたが、家内もお手上げで、相談に乗れという。



いくら眺めててもダメよ、四角形をつなぎ合わせた展開図がこんなかなあ 後は同じ形で紙箱を作って 立体的に織り込んでみないとわからん。折鶴も折り込まずに図面だけで作った人は天才。

こんな形に平坦で小さくなるバッグ ???

菓子折りや駅弁の折箱などを製造しているメーカーに行ったらわかるやめなちあ・・・と。

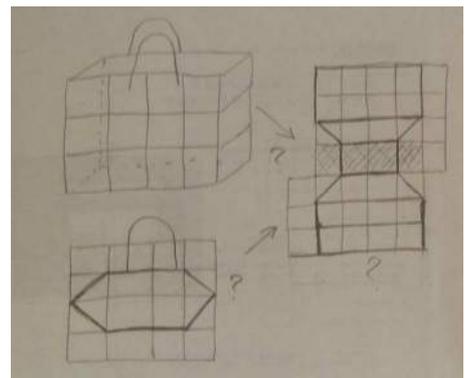
宇宙に広げたアンテナもそんなアイデアから生まれたと聞く。

夜長ひねくり回して ああでもない こうでもないひねくり回してやっとできました。

ヒントは 元の四角の紙箱を上部和下部二つに分けて 同じ折型になるように考え、それを張り合わせる。

これで 夜長二人で 箱型をひねくり回して 出来上がりました。

イタリアのデザイナーが作ったのと同じかどうかわかりませんが、面白かった。



箱型の基本展開図



上部側の折込



上部と下部を張り合わせ



下部側の折込

相談されてきたので良かったのですが、本当の所は瓢箪から駒。「見たり、聞いたり、試したり」です。

【 From Kobe 2014年12月 】 2014年12月 師走の便り by Mutsu Nakanishi

最近 都会のヤングママに果実の人気がなく、消費が落ち込んでいるという これも時代か??



12年前の12月のfrom Kobe 四季折々 2012年12月の項を開いてみて、

映画「阿弥陀堂だより」を見た感想の項に阿弥陀堂だよりの著者 南木佳士氏の次の言葉を紹介していました。

「日帰り登山で下山するとき 急な登りであえいでいた余裕なき自己の姿を鮮明に思い出すが、笑う気になれない。

それに似た感情をあ頃の自分に対して抱く。 人生の山を上りきる直前の苦しさだったのかもしれぬ。

だから、今は肩の力を抜いて、ゆっくり景色を見ながら下ってゆく心地よさをなによりも大切にしたい。

それを支えるのはマンネリを好むからだの声に逆らわずに暮らすことなのだ と 50歳になってようやく気付いた。」

南木佳士氏 「阿弥陀堂だより」より

高齢者の言葉にも抵抗がなくなり、何とはなしに人忍しいこの頃ですが、「鉄」への思いや好奇心はまだまだある。

「まだ これからぞ」と前向いて風来坊とっています。

来年は「末」の周り年 前向いて 頑張らねばと… でも 無理せず ゆっくりと今を

2014.12.10. from Kobe by Mutsu Nakanishi

◀ 最近 都会のヤングママに果実の人気がなく、消費が落ち込んでいるという これも時代か?? ▶

過度の自動・情報化社会の急展開とその利根的な思考の万延は「人の生きるすべ」を見失ってしまう??

おかげさですが、今のこの風潮 これですべてゆけるのか? と心配になる。

2014. 12. 10. by Mutsu Nakanishi

最近 都会のヤングママにリンゴなどの果実が人気なく、消費が落ち込んでいるという。

理由は果実の皮を剥くのが面倒・苦手で、街へ行けば自由に飾り付けられてセットされた果物・フルーツがいくらでも食べられるからだとか聞く。リンゴやナシばかりでなく、みかんもそうだという。

そういえば、きれいにカットされ、小分けされたカット生野菜を必要分だけ買うのも人気だという。

調理された野菜に、手に取る魚はサシミだけだとも良く耳にする。

どれもこれも、誰かが調理してくれたものを意のままに必要分買うのがヤングママのスタイルだという。

一方「タクシーの扉が自動で開くのは日本だけだ」と日本を訪れた外人たち誰もが驚嘆すると聞く。

また、ほかにも最近の都会は便利になりすぎて 回転寿司の進歩・ロボット化には目が点だと。

こんな日本を外人たちは羨望の目で見ると共に首をかしげてもいるという。

こんな事例は ほかにもいくらでもあり、日本の都会に氾濫している。

意識しているしていないは別として、金さえだせば、すべて手に入る世の中の風潮

便利なものかもしれないが、自分の生き抜く技術・知恵が知らず知らずの内に退化していることに気が付いていない。

もし、ライフラインが壊れ、街に調理食品がストップすればどうするのだろうか? 例えば 今電気がストップすると… 安価な輸入品 過度のインフレから加工食品の価格が高騰し、その価格についてゆけなくなったらどうするのだろうか?。

大げさに言えば 今 「東京・中央と地方」・世代間・雇用等々のギャップ・格差がいたるところに顔を出している。

地方と都会の感覚ギャップは評論家のむづかしい議論を待たずとも、過疎の地方ではすでに人の生活を脅かしはじめ、漏れ聞くヤングママの感覚など地方では羨望的であっても高根の花である。

都会では一気に自分の身に逆転の現実がないとは言えぬ時代が身近にある。そのことにヤングママたちは無関心である。

日本人がみな 総感覚マヒにおちいつているのではないかと…

- ◎ 都会ではすでに独りでは自立できず、ほかの人に頼らぬと生きてゆけぬ世界であり、
そのネットワークが瓦解しかけているのに、そこに住む人たちはそのことに無関心でいる。
過度な便利さは人の技術・感性をそぎ落とし、敷いては生きてゆく知恵をもなくしてしまう。
今 日本では そんな感覚の分岐点に直面してはいないか???

よく日本人は思いやりの国といわれ、時としてそれが各々にとって重荷にもなって、それから逃れる願望も強い。
でも、右か左だけでなく、その中間ゾーンも存在する日本の感覚 そんな「日本人の相手をおもんばかりの心の広がり、
世界を救ってくれる??」との期待が世界で高まり、静かなブームにもなっている。
そんな時に、おひぎ元の日本で、自分の仲間以外の顔が見えぬようになったら、もうおしまいだ。
今もその実、日本人はアメリカナイズすることを豊かと錯覚してに血道を上げ、
外人たちが日本に学び、求めていることを言葉として口にはしても、
きれいさっぱりそぎ落とす方向へとまい進しようとしてはいないだろうか・・

東京や大阪など都会では 地方の痛みも日本の社会の歪も見えもしないし、理解もしない。
中央・霞が関人間が世界をまた日本を動かしているとの高慢な考え方には 今歯止めが必要だ。
原発の稼働問題・東日本復興の遅滞・安定雇用と格差のギャップ増大・医療に交通等々
そんなギョッブがいたるところで見えている。

今 国外からは 白黒の世界から、日本のカラー色豊かなスローライフ的な世界に注目のまなざしが注がれている。
ヤングママたちよ 自分で調理しよう! 都会の便利の向こうにいる人たちにも 思いを寄せよう・・・・と。



本年最後の 偏屈じじいのやぶにらみのぶつぶつです。

この1年 またも同じことをぶつぶつ、新しい突破口もよう見つけず、巷に埋没です。 .

そんな掲載にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

ひきつづきよろしく申し上げます。